



公益財団法人 2020年度  
**渥美国際交流財団年報**

**ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION  
ANNUAL REPORT 2020**



渥美健夫  
(1919-1993)

渥 美国際交流奨学財団は故渥美健夫鹿島建設  
名誉会長の遺志に基づき日本の国際化の推  
進にささやかながらもお役に立ちたいとい  
う願いをこめて、1994年4月1日に設立されました。

当財団は諸外国から日本の大学院に留学している優  
秀な学生に奨学援助をいたします。日本にやって来た  
留学生の皆さんのが、学問を成就するだけでなく、豊か  
な文化や社会に触れ、より大きな収穫を得ることができますようお手伝いさせていただきたいと思います。

若者たちがより大きな世界を知るよう支援させてい  
ただくことによって、人々の心の中に国際理解と親善  
の芽が生まれ、やがては世界平和への道が開かれてゆ  
くことを願っております。

# 目次

## CONTENTS

理事長挨拶 2

### ■ 奨学事業

3

渥美奨学生の概要 4

2020年度渥美奨学生（26期生）研究報告会 5

蓼科ワークショップ@東京 7

6月例会 8

9月例会 8

10月例会 8

12月例会 9

新年会 9

ラクーン会 10

### ■ 国際交流事業

11

SGRAの概要 12

第14回 SGRA-Vチャイナ・フォーラム 13

第65回 SGRA-Vフォーラム／第5回国史たちの対話の可能性 14

第13回 SGRA-V カフェ 16

第14回 SGRA-V カフェ 16

第15回 SGRA-V カフェ 17

出版物一覧 18

### ■ 財団運営

業務日誌 19

財務諸表 20

財団人名簿 21

奨学生名簿 22

2020年度の活動にご協力いただいた皆様 28

# ごあいさつ

理事長 涩美伊都子

涩美財団設立 25 周年の祝賀会を昨年 4 月に開催する予定になっておりましたが、コロナ禍のため延期することになり、また今年も見送って、改めて 30 周年のお祝いをすることにいたしました。大変残念なことと思っております。



しかし、奨学事業は予定通り進み、14 人の奨学生は 3 月末で奨学期間が終わり、各自散り散りになりましたが、皆さん、ラクーン会（同窓会）の会員として、次のステップに進むことになります。私どもは奨学期間の 1 年間に博士論文を書くだけでなく、日本の生活を知り、またお互いを知るために、蓼科合宿、バーベキュー、鹿島建設の工事現場見学をしたり、また新年会ではお餅つきをして日本のお正月料理を楽しみ、3 月の研究報告会の時には雛人形を飾ってその由来を話したりと、皆で集まって楽しい時を過ごします。しかし、2020 年度奨学生の皆さんとは会食をすることができませんでした。

思いがけず良いこともありました。コロナ禍のおかげで、インターネットで世界中にちらばっているラクーンの皆さんと連絡がとりやすくなりました。研究報告会や SGRA フォーラム等も、今までのように会場に集まらなくても、世界中どこでも自分のパソコンで参加することが出来るようになりました。素晴らしいことです。世界が広がったように思われます。

25 年間を思い起こせば、設立当初は人数も少なく、私も留学生との付き合いは初めてで、奨学生の皆さんのが郷の様子を聞くのを楽しみにしていました。そのうち、ラクーンの皆さんのが出身地を訪ねてみるとことになりました。最初に中国を案内してもらうことになり、歴史を訪ねてとても楽しかったので、その後も台湾、韓国、イタリア等を旅することができました。楽しい思い出です。

国際交流活動が活発になったので、2000 年に関口グローバル研究会（SGRA）を立ち上げ、「良き地球市民の実現」を目標に、元奨学生を中心となってフォーラムやシンポジウムを開催するようになりました。2013 年からはアジア未来会議を隔年で開催し、アジアを中心とした各国の研究者が集まって発表する場となりました。既にタイ、インドネシア、日本（北九州）、韓国、フィリピンで開催され、私もその都度出席して会議を覗いたり、ラクーンの皆さんと会ったり、同窓会のように楽しい一時を過ごしました。

おかげさまで事業は順調に発展しており、これも関係する皆さまのおかげと心より感謝しております。2021 年度より、理事長を長男直紀に譲ることにいたしましたので、私は顧問として涩美財団を見守っていきたいと思っております。

## 涩美財団のふたつの公益事業

涩美財団の事業は大きくふたつに分かれます。  
奨学事業と国際交流事業（SGRA）です。

公益財団法人  
**涩美国際交流財団**

**奨学事業**  
**涩美奨学金**

**国際交流事業**  
**関口グローバル研究会 (SGRA)**

# 奨学事業

## 奨学事業からネットワークへ

### 渥

美国際交流財団は、奨学生の皆さんに自分とは異なる分野の人々と出会い、話し合う場を提供したいと思います。そのためにも、奨学金は必ずお目にかかるお渡しし、緊密なコミュニケーションをとりながら奨学支援を行います。奨学期間が終わった後も連絡を取り合い、ゆくゆくは世界的な規模の人的ネットワークを築けたら素晴らしいと思っています。

渥美奨学生の同窓会は、渥美健夫氏が描いていた狸にちなんでラクーン会と呼ばれています。

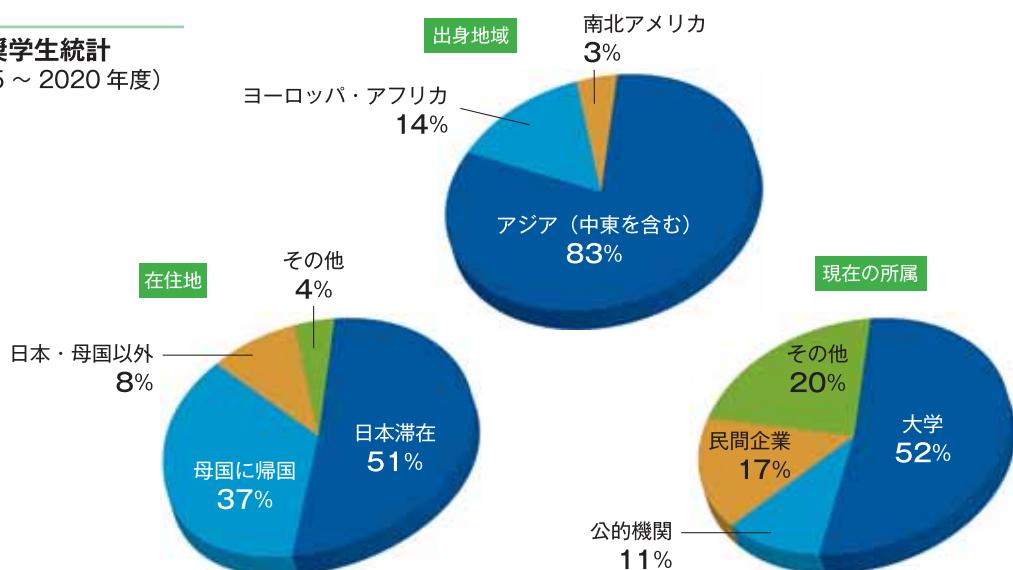
### 2020 年度の主な活動

- 2020年度渥美奨学生（26期生）研究報告会 p5
- 講座ワークショップ@東京 p7
- 6月例会、9月例会、10月例会 p8
- 12月例会 p9
- 新年会 p9
- ラクーン会 p10

# 渥美奨学生の概要

**渥** 美国際交流財団は日本の大学院博士課程に在籍して博士論文を執筆している留学生および日本人学生を対象に、毎年 14 名の奨学生を募集・選考し、月額 20 万円（2022 年度から 25 万円）の奨学生を支給しています。支給年限は 1 年間で、継続は認められません。奨学生の専攻分野と国籍に制限はありません。2020 年度（26 期生）までに、51ヶ国・地域、320 人を支援してきました。

**渥美奨学生統計**  
(1995 ~ 2020 年度)



## 募集および選考 (2022 年度奨学生募集より)

### 応募資格 (下記のすべてに該当すること)

1. 日本の大学院の博士課程に在籍し、当財団の奨学生支給期間に博士号を取得する見込みのある留学生および日本人学生。正規在籍年限を超えたために、あるいは、海外の大学院より博士号を取得するために、研究員等として日本の大学院に在籍する方も含みます。
2. 渥美奨学生受給期間、所属する大学院研究科（研究室）と居住地の両方が、関東地方（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県）にある方。
3. 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流活動に積極的に参加する意思のある方。
4. 日本語に堪能な方（応募書類と面接は全て日本語だけです）。
5. 渥美奨学生の受給期間に、正規の職（常勤職）に就いたり、他の奨学生を受ける予定のない方（当財団は常勤の方への支給、および月額 5 万円以上の他の奨学生との重複受給は認めません）。

### 応募方法

奨学生希望者は、毎年 7 月以後、各大学院の奨学生担当課または当財団事務局に、募集要項と申込書をご請求下さい。当財団のホームページからもダウンロードすることができます。応募申込は毎年 9 月に受け付けます。

### 選考の方法

事務局における書類と面接による予備審査の後、選考委員による書類選考と面接試験により審査します。

### 選考の方針 (抜粋)

奨学支援を機縁とした渥美財団のネットワークは、どんなにささやかではあっても世界の調和ある発展のために役立たせたいと考えています。そのため、博士論文の研究内容が人類や社会、あるいは自然との調和ある発展に貢献する可能性が大きいと考えられるものを優先します。

## 新型コロナウイルス特別奨学生（一時金）の支給

博士論文を執筆中で常勤職についていない元渥美奨学生を対象とし、5 月に一時金 10 万円を 18 名に、12 月に同額を 19 名に支給しました。

2020年度渥美奨学生（26期生）

# 研究報告会

2021年3月6日（土）

於：鹿島新館・渥美財団ホール&Zoom

奨学生が1年間の研究活動と成果を報告する研究報告会。ウイルス感染症の世界的流行という状況の下で、目標を失わずに研究に向き合ってきた奨学生の皆さんのお意欲が凝縮された報告会となつた。報告会はウイルス感染防止を考えて会場とオンラインの併用（ハイブリッド）で行われ、11名が会場で、3名がオンラインで報告を行つた。



ご自身の幼少時代に贈られた雛人形を前に、開会挨拶をする渥美伊都子理事長。奨学生たちの厳しかった1年間にに対するねぎらいの言葉をかけられ、研究会は暖かい空気に包まれた。



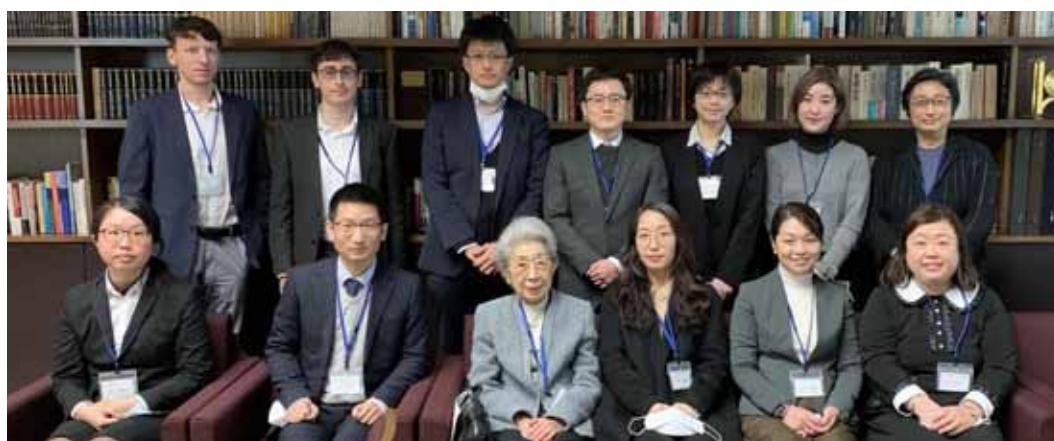
奨学生による1年間の研究報告。「パワーポイントを駆使」しながら、「12分以内」で、研究内容及び研究意義を「子供でも理解できる」ように説明することが求められた。



中央大学の宇佐美毅先生及び元国際連合事務総長の明石康氏（財団評議員）からは、「異なる分野の研究者同士の発表を共有できる今日のような機会は貴重だ」などのコメントが寄せられた。



財団理事の片岡達治先生と平川均先生は会場で参加。「より効果的にプレゼンテーションをするには、聞き手にもっと聞いてみたいような感情をいかに持たせるかが肝心」とアドバイス。



緊急事態宣言が解除されず、親睦会を開くことができなかつたのは残念だったが、普通にできることの有り難さを実感した1年間でもあつた。奨学生の皆さんのご活躍を祈願するとともに、今後もラクーンのメンバーとして長く付き合つていけることを願う。

詳細は AISF ニュース <http://wwwaisf.or.jp/jp/> 2021.03.06 2020年度奨学生研究報告会報告 参照。

# 2020年度奨学生の研究テーマ一覧

1930年代の批評言説からみる小津映画の「日本的なもの」

具 慧原 Koo Hyewon (韓国)

東京大学大学院  
美学芸術学



「被害者の政治学」と政策的変容のメカニズム：国内政治の変化と「被害の承認」のダイナミズム

尹 在彦 Yun Jaeun (韓国)

一橋大学大学院  
(博士) 國際関係論



ネーミングの政治学とクィア・ビデオ・アクティビズム：中国における性的マイノリティによる「映像実践」から読み解くクィア運動の実態

于 寧 Yu Ning (中国)

東京大学大学院  
超域文化科学



いじめ傍観者の援助行動を促進する要因及び教師と生徒のいじめ介入要因：日本と中国の分析を通して

元 笑予 Yuan Xiao Yu (中国)

東京学芸大学大学院  
(博士) 学校教育学



夏目漱石とイギリスロマン主義思潮

吳 勤文 Wu Ching Wen (台湾)

筑波大学大学院  
(博士) 国際日本研究



OFDR方式分布型光ファイバセンサに用いる光集積回路干渉計の開発

シーシキン、ヴィクター  
Shishkin, Victor (ロシア)

東京大学大学院  
(博士) システム創成学



光遺伝学を用いた iPS 細胞由来ドバミン神経細胞のα-シヌクレイン分泌調節

マリダン、ヌルマイマイティ  
Maierdanjiang, Nuermaimaiti (中国)

順天堂大学大学院  
医学 / 神経学



植民地台湾における啄木文学の受容

劉 怡臻 Liu Yichen (台湾)

明治大学大学院  
文化領域



日大闘争の歴史性に関する試論：日大全共闘の記録づくりを中心に

趙 沼振 Cho Sojin (韓国)

東京外国语大学大学院  
国際社会



西鶴奇談研究

梁 誠允 Yang Sungyun (韓国)

東京大学大学院  
日本文化研究



英語句動詞と日本語複合動詞の比較研究：第二言語習得・言語教育の視点から

ニューベリーペイトン、クリスタフアーローレンス  
Newbery Payton, Christopher Laurence  
(イギリス)

東京外国语大学大学院  
言語文化



知的障害者の自己理解と他者意識に関する臨床心理学的研究：自尊感情に重点をおいたキャリアガイダンス・カウンセリングの開発

李 受眞 Lee Sujin (韓国)

東京学芸大学大学院  
(博士) 教育方法論



改革開放後の中国における日本近現代小説の受容研究：80年代を中心

苗 鳳科 Miao Fengke (中国)

中央大学大学院  
国文学



手指の主要動作パターンを実現する軽量化筋電義手の開発

雍 旭 Yong Xu (中国)

電気通信大学大学院  
(博士) 機械知能システム学



## コロナと月例会

食事会や蓼科旅行、真夏のBBQ、工事現場見学会、そして餅つきやBINGOの新年会など、1年間の奨学期間に行う盛りだくさんの月例会であるが、新型コロナウイルスの感染防止のために飲食を伴うもの、宿泊事業は全て中止せざるを得なかった。Zoom会議の可能性を試しながら、渥美財団ホールに参加する人とZoomで参加する人が一緒に楽しめる交流会を、奨学生と事務局スタッフが共に考え、試行錯誤しながら創り上げていった。

2020年度奨学生のみなさん、コロナが終わったら食事会をしましょうね！

## 蓼科ワークショップ @東京

2020年7月4日（土）  
於：鹿島新館・渥美財団ホール& Zoom

奨学生を対象に毎年合宿形式で行われていた蓼科ワークショップ。今年度はウイルス感染防止を考慮して東京の渥美財団ホールで開催された。大学の講義やゼミがオンライン方式に移行する状況を受けて、テーマは「リモート教育の可能性と限界」。ファシリテーターとして参加した4人の元奨学生たちが語る、オンライン講義の課題や苦労話を聞きながら、実り多いディスカッションが交わされた。



教育学が専門で昭和女子大学で教鞭をとるシム・チュンキャットさん（'06 猪）が、オンライン授業の効果や学生の反応を紹介。教育現場の経験から問題提起を行った。



続くグループワークでは、ファシリテーターの元奨学生のサポートのもと、「楽しく喧嘩しよう」を合い言葉に、高校生向けのオンライン授業のケーススタディーを行った。



4つのグループのテーマは「オンライン授業イベント」、「伝えることの大しさ」、「盗作について」、「科学と人間の共存」。最後に討議の内容が共有され、リモート教育への認識を深めた。



いろいろなツール、科学技術や課題提起の方法を用いることで、授業の内容がより豊かになり、時空間や肢体の限界を超える可能性を見つけるなど、興味深い討議を行うことができた。

詳細は AISF ニュース <http://wwwaisf.or.jp/jp/> 2020年蓼科ワークショップ @ 東京報告 参照。

## 6月例会

2020年6月9日（火）  
於：鹿島新館・渥美財団ホール

5月25日には首都圏でも緊急事態宣言が解除され、2020年度奨学生が初めて集う機会を設けることができた。6月例会はコロナウイルス感染のメカニズムと予防策についてのお話を伺った後、日ごろからパンデミックについて疑問に思っていることをお聞きした。

「いまさら聞けない？！新型コロナへの疑問・質問」というテーマで片岡達治先生（財団理事）をお招きしてお話を伺った。和やかな雰囲気の中、質疑応答でも様々な質問が出され、その一つ一つに片岡先生が丁寧に答えてくださいました。



詳細は AISF ニュース <http://wwwaisf.or.jp/jp/> 06.09 2020 年度奨学生 6 月例会 参照。

## 9月例会

2020年9月11日（金）  
於：鹿島新館・渥美財団ホール& Zoom

9月例会は、「財団の初期の活動や SGRA 設立について知ろう！」というテーマで7月の蓼科ワークショップ@東京と同様に、対面式と Zoom を併用するハイブリッド形式で実施。また、オンラインの環境をよりよくするために専門家を招き、新たな映像機器も導入した。



詳細は AISF ニュース <http://wwwaisf.or.jp/jp/> 09.11 2020 年度奨学生 9 月例会報告 参照。

## 10月例会

2020年10月14日（水）  
於：鹿島新館・渥美財団ホール& Zoom

10月定例会は、「こんなモノいいな、できたらいいな～『どこでもペダル』製作を通して～」をテーマに開催。財団に集まった奨学生はグループで「どこでもペダル」の製作に取りかかり、オンライン参加の奨学生も、事前に送付された部品を使って作成にチャレンジ。手を動かして「作ること」の楽しさを共に感じる一時だった。



「どこでもペダル」は2012年度奨学生の尹飛龍さんがご自身で開発された足踏み式除菌スプレー。木などの素材で作られるため低価格で生産でき、使用状況に合わせて高さが調整できるなど、様々なメリットがある（完成したペダル3台はその後、財団で活躍中）。第2部では、「マスクしたままどうやったら効果的にコミュニケーションができるか」というテーマを設定し、ディスカッションを行った。

詳細は AISF ニュース <http://wwwaisf.or.jp/jp/> 10.14 2020 年度奨学生 10 月例会報告 参照。

# 12月例会

2020年12月19日(土)  
於: Zoom

今年は残念ながら集まつての飲食がほとんどできなかつたため、事前に奨学生からの手書きの「冬の思い出」エピソードと写真で作った日めくりカレンダーとお菓子が入つたギフトボックスを送り、同じお菓子を同じ時間にオンラインで全員の顔を見ながら一緒に食べ、一年を振り返つた。

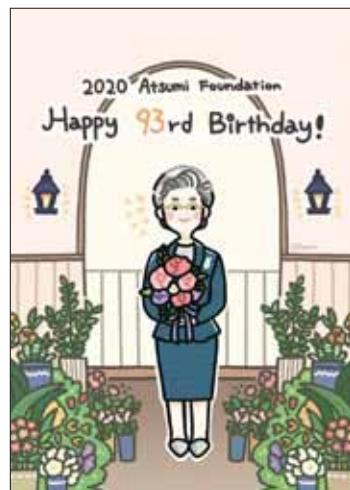


詳細は AISF ニュース <http://wwwaisf.or.jp/jp/> 12.22 2020 年度奨学生 12 月例会報告 参照。

# 2021 新年会

2021年1月16日(土)  
於: 鹿島新館・渥美財団ホール& Zoom

まるで春のような陽気のなか、2020 年度奨学生、および世界各地からのラクーンメンバーや財団スタッフなど総勢 61 名が参加して 2021 年新年会を開催。今年は新型コロナウィルスが再流行している状況をふまえて、財団に集まつたのは奨学生の代表だけ。その他の方々はオンラインで参加するハイブリッド形式で新年会と渥美理事長の誕生日をお祝いした。



例年のように賑やかなパーティーはできなかつたが、世界各地で活躍するラクーンメンバーの皆さんの近況報告が聞けたのは、オンラインならではのこと。オンライン上に集合したラクーンの皆さんの話が盛り上がつてゐる中、財団ホールではバースデーケーキが準備され、消灯と共にバースデーソングが流れるとき、「93」というナンバーキャンドルが立てられた特注ケーキが登場。花束と「花に囲まれて微笑む理事長の似顔絵」が贈呈された。2020 年度奨学生からのお祝い動画も映し出され、財団ホールは和やかな雰囲気に包まれた。

詳細は AISF ニュース <http://wwwaisf.or.jp/jp/> 01.16 2021 年新年会報告 参照。

# ラクーン会



世界各地で開催されるラクーン（渥美奨学生）の同窓会。2020年度は、パンデミックの影響で、ラクーン会もオンラインで開催。5月に初となるバーチャル・ラクーン会（Vラクーン会）を行ったのを皮切りに、翌3月までに計6回開催した。オンラインであるため、これまで会うことができなかつた世界のラクーンが繋がり、世界に拡大するラクーンメンバーの絆を深めることになった。

## 初めてのVラクーン会 2020年5月3日(日)



参加者は40名を超え、ロックダウン等の各国の新型コロナウイルス拡大防止対策の中でどのような生活をしているかを発表。発言はヨーロッパ在住者からアメリカ、アジアへと世界を一周した。予定の1時間半を過ぎても20名ほどが残り、夜中までおしゃべりが続いた。

## 第2回 Vラクーン会 2020年8月14日(金)



避暑地軽井沢から発信された第2回Vラクーン会。東京、名古屋、福岡、大分、ヒューストン、ニューデリー、台北、ボローニヤ、デンマーク、ウクライナ、香港、北京、済南、ハノイ、メルボルン、そしてセブから、ラクーン仲間が参加してくれた。

## 2006Vラクーン会 2020年9月27日(日)



'06 獅のオンラインのラクーン会を開催。台北から梁蘊嫻さん、東京からシムさん、ヒューストンからナリンさん、ハノイからチュ・スワン・ザオさんが参加し、少人数ながらも国際色豊かな初めての奨学年度ごとのVラクーン会となった。

## 2003Vラクーン会 2020年10月15日(木)



'03 獅のVラクーン会を開催。静岡から臧剣さん、福岡から郭智雄さん、イタリアからマリアエレナ・ティシさん、ベルギーから張桂娥さんが参加。東京の今西常務理事を囲んで、近況報告や思い出話に花を咲かせたり意見を交わしたり。実り多き秋のひとときだった。

## 2020年末 Vラクーン会 2020年12月30日(水)



日本時間の20時～22時、Vラクーン忘年会を開催。第1期生から今年度生まで22人が参加し、ヨーロッパ、アメリカ、そして日本の各地からコロナ、生活、職場の現状を報告して、お互いに励まし合い、盛り上がった。

## 1996Vラクーン会 2021年3月14日(日)



'96 獅のVラクーン会を開催。キンマウントウエさん、李來贊さん、南基正さん、金雄熙さん、朱庭耀さん、フェルディナンド・マキトさんが参加。パンデミックやクーデターが一段落したら、"ミャンマーの軽井沢"にあるキンさんの"ホテル秋穂"で再会しよう！と約束した。

詳細は AISF ニュース <http://www.aisf.or.jp/jp/> 2020～2021 のバックナンバー 参照。

# 国際事業交流

## 良き地球市民の実現をめざす

**渥美**

美財団の国際交流活動を担うのが、SGRA（関口グローバル研究会）です。SGRAは世界各国から渡日し、長い留学生活を経て日本の大学院から博士号を取得した知日派外国人研究者が中心となって、地球社会の平和と調和ある発展に寄与する研究を推進する学術交流事業を行い、その成果を会議、フォーラム、レポート、ホームページ等で広く世界に発信しています。日本国内だけでなくアジアを中心に海外拠点を設けて活動しています。

SGRAは、ある一定分野の専門家ではなく、広く社会全般を対象に、幅広い研究領域を包括した国際的かつ学際的な研究交流活動を狙いとしています。良き地球市民に貢献することがSGRAの目標です。

### 2020 年度の主な活動

- 第14回 SGRA-Vチャイナ・フォーラム p13
- 第65回 SGRA-Vフォーラム／第5回国史たちの対話の可能性 p14
- 第13回 SGRA-Vカフェ p16
- 第14回 SGRA-Vカフェ p16
- 第15回 SGRA-Vカフェ p17

## SGRAの概要

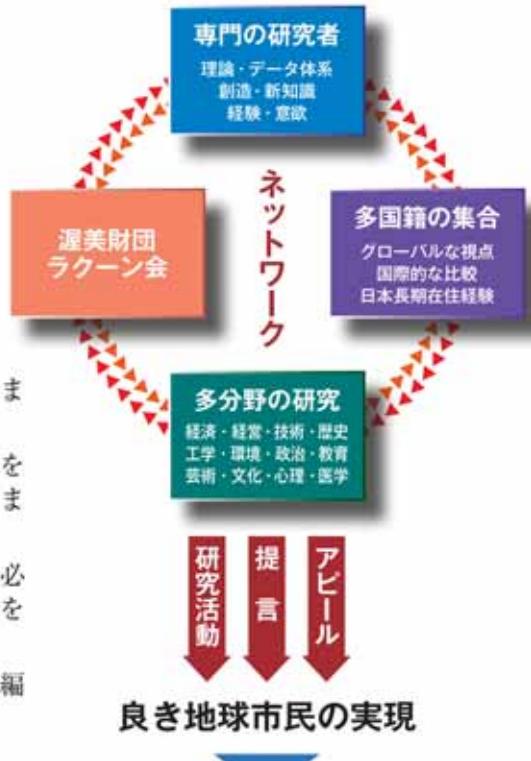


SGRAは、渥美財団の事業資金と法人・個人からの寄附金、諸機関からの各プロジェクトに対する助成金、その他の収入を運営資金として、運営委員会、プロジェクトチーム、編集チームによって活動を展開しています。

1. 運営委員会は、本会の運営に関する重要事項について決議します。
2. 運営委員会は、本会の目指す目標に合致する研究カテゴリーを選定し、適宜にプロジェクトチームを編成し、事業を推進します。
3. プロジェクトチームは、SGRAメンバーにより構成され、必要に応じて他の参加者を求め、事業を推進し、広く情報発信を行います。
4. プロジェクトチームは、個別プロジェクトの実施組織として編成されます。

SGRAは、渥美国際交流財団関口グローバル研究会（Sekiguchi Global Research Association）の略称です。渥美財団の所在地である東京都文京区関口から世界に向かってグローバルな課題を発信します。

## SGRAの特徴



## 良き地球市民の実現

平和と人類の幸福へ貢献

### 主な事業

#### アジア未来会議

日本に留学経験のある研究者、日本に関心のある若手研究者、学生が一堂に集い、アジアの未来、地球社会の未来を学際的・国際的な視点から語り合う《場／プラットフォーム》です。2012年度から隔年度にアジアの主要都市で開催されています。

#### 海外の研究機関等との共同プロジェクト

##### ■ 日台アジア未来フォーラム

台湾の大学と共同で毎年開催。日本、台湾に共通する社会科学、人文科学のテーマを考察するフォーラム。

##### ■ SGRAチャイナ・フォーラム

北京を拠点とする「清華東亞文化講座」の協力を得て、北京を中心とした中国の大学や研究所で毎年開催。文化に焦点を当てて日中交流史の再検討を試みるフォーラム。

##### ■ 日韓アジア未来フォーラム

韓国（財）未来人力研究院との共同開催。社会科学や人文科学における諸課題を複眼的に考察するフォーラム。

##### ■ 日比共有型成長セミナー

1970年代に日本が成し遂げた「共有型成長」の研究をキーに据え、フィリピンにおける諸課題を検討するセミナー。

#### SGRAフォーラムなどの学術交流事業

以下の8つのカテゴリーから導き出されるテーマに沿った円卓会議やフォーラムなどの学術交流活動を行います。

- ・グローバル化と地球市民
- ・構想アジア
- ・環境とエネルギー
- ・科学技術と人間社会
- ・東アジアの人材育成
- ・東アジアの安全保障と世界平和
- ・宗教と現代社会
- ・ジェンダーと社会

その他、SGRAふくしまスタディツアーやSGRAカフェなどを随時実施しています。SGRA活動の成果は優秀論文集、SGRAレポート、SGRAホームページ、SGRAメールマガジン等で発信しています。

### SGRAかわらばん

SGRAフォーラム等のお知らせと、世界各地からのSGRA会員のエッセイを、毎週木曜日に電子メールで配信しています。SGRAかわらばんは、どなたにも無料でご購読いただけます。購読ご希望の方は、ホームページから自動登録いただけます。



# 第14回SGRAチャイナ・Vフォーラム

## 東西思想の接触圏としての日本近代美術史再考

日 時：2020年11月1日（日）  
方 法：Zoomウェビナーによる  
言 語：日中同時通訳付き  
主 催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）  
協 力：清華東亞文化講座、北京大学日本文化研究所  
後 援：国際交流基金北京日本文化センター

江戸時代後期以降、日本には西洋の諸理論が流入し、それまで規範であった中国美術の受容と展開の過程に西洋理論が影響を及ぼすようになった。一方、東洋的な伝統や理念が西洋の画家たちに影響を与え、日本や中国で再評価されるという動きも起った。日本近代美術史を東洋と西洋の思想が交錯する場として捉え直し、東アジアの多様な文化的影響関係を議論することを目的に、その複雑な影響関係を具体的に明らかにしていった。



コロナ禍のため、2020年度の開催は難しいと思われていたが、オンラインでの開催に切り替え、8月頃から急ピッチで準備が進められた。結果的に当日の参加者は300名近く、チャイナ・フォーラム開催以来、最大の数字となった。北京大学民主楼（燕京大学の教会だった場所）の講堂に会場が設けられ、大学院生30名近くが集まった。



国際日本文化研究センター稻賀繁美教授の講演テーマは「中国古典と西欧絵画との理論的邂逅—東西思想の接触圏としての日本近代美術史再考」。稻賀先生は美しい絵を見せながら、「気韻生動」、「感情移入」等の美学の概念、そしてそれらを一身に背負う画家にスポットを当て、解説を行った。



講演に続き、清华大学歴史系の劉曉峰先生、東京大学東洋文化研究所の塚本麿充先生、清华大学中文系の王中忱先生（中国社会科学院文学研究所の高華鑫先生が代読）、香港城市大学中文及び歴史学科の林少陽先生よりそれぞれの専門的知見に基づいたコメントが述べられた。

詳細は SGRA ニュース <http://wwwaisf.or.jp/sgra/active/news/>  
孫建軍「第14回SGRAチャイナフォーラム『東西思想の接触圏としての日本近代美術史再考』報告」参照

# 第65回 SGRA-Vフォーラム

## 第5回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性「19世紀東アジアにおける感染症の流行と社会的対応」

日 時：2021年1月9日（土）  
方 法：Zoomウェビナーによる  
言 語：日中韓3言語同時通訳付き  
主 催：渥美国際交流財団関ログローバル研究会（SGRA）

2016年以来「日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性」円卓会議を4回実施してきたが、今回は初めて試みとしてオンラインで半日のプログラムを開催。今回のフォーラムでは、3カ国の歴史研究者が近代史の中の感染症についての研究を発表し、東アジア地域の交流史としての可能性を議論した。今までの国史対話での発表者と討論者もパネリストとしてお招きし、参加者は発表者・討論者（パネリスト）が38名、一般参加者が93名、同時通訳を含むサポートが20名で計151名だった。

### 第1セッション

対話は2つのセッションに分けて実施され、第1セッションでは村和明先生（東京大学）の司会で3つの発表と指定討論が行われた。



今西淳子渥美財団常務理事の歓迎挨拶に続いて、趙珉先生（韓国国史編纂委員会）による開会挨拶が行われた。



最初の発表は、韓国の朴漢珉先生（東北亞歴史財団）。テーマは「開港期朝鮮におけるコレラ流行と開港場検疫」。



2番目に日本の市川智生先生（沖縄国際大学）が「19世紀後半日本における感染症対策と開港場」をテーマに発表。



3番目に登場した中国の余新忠先生（南開大学）は「中国衛生防疫メカニズムの近代的発展と性格」について発表を行った。

## 第2セッション

南基正先生（ソウル大学）の司会によりパネリストによるコメントと自由討論が行われた。直接発言だけでなくチャット機能も活用され、活発な議論が展開された。



自由討論に先立ち、劉傑先生（早稲田大学）による論点整理が行われ、発表の内容とともに、事前に提出されたパネリストからの質問で共通に提起された問題についても提起された。

三谷博先生（跡見学園女子大学）は閉会挨拶で、この会議の趣旨は「国家間の葛藤をどのように克服するかにある。今日集まつた方々が個人的にもこれからもずっと交流してほしい」と述べた。



会議が終了してから、非公式の、自由な「対話」が懇親会という形で行われた。フィリピンで開催された「第4回国史たちの対話」で会つた方々は、1年ぶりの「再会」で和気あいあいと会話を交わし、「第5回国史たちの対話」に初めて参加した方々ともすぐに打ち解け、親しい会話が続いた。

詳細は SGRA ニュース <http://www.aisf.or.jp/sgra/active/news/>  
金キョンテ「第5回国史たちの対話報告—感染症時代に感染症の歴史を振り返る」 参照

### ●「国史たちの対話」とは

東アジアにおいて「歴史和解」は依然大きな課題として残されている。講和条約や共同声明によって国家間の和解が法的に成立しても、国民レベルの和解が進まないため、眞の国家間の和解は覚束ない。歴史家は歴史和解にどのような貢献ができるのだろうか。

日本の日本史研究者、中国の中国史研究者、韓国の韓国史研究者が対話することによって、「国史」と東アジア国際関係史の接点に今まで意識されてこなかった新たな歴史像があるのではないか。

もちろん、本会議は立場によって様々な歴史があることを確認することが目的であり、「対話」によって何等かの合意を得ることが目的ではない。

これまで日中韓三言語対応の円卓会議形式で開催してきたが、コロナ禍によるオンライン会議の導入で結果的に新たなプラットフォームを得ることになった。今後はさらに多様な形で対話を深めていきたい。

#### ●SGRA Kokushi Newsletter (国史メールマガジン)

「日本・中国・韓国における国史たちの対話」の関係者によるエッセイを、毎月1回、日本語・中国語・韓国語の3言語で同時に配信しています。



## 第13回 SGRA-Vカフェ

### ポストコロナ時代の東アジア

日 時：2020年7月18日（土）  
方 法：オンライン（Zoom）による  
言 語：日本語のみ  
主 催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）



武漢大学日本研究センター教授の林泉忠先生の講演は、まず現在の状況をグローバル時代の終焉と捉えることから始まった。

SGRA カフェは、良き地球市民の実現をめざす（首都圏在住の）みなさんに気軽にいただき、講師のお話を伺う＜場＞として開催してきた。コロナ禍の2020年度は、オンラインでの開催に切り替え、9月から3月までに3回の SGRA バーチャル カフェ（V カフェ）を開催した。

V カフェの先駆けとなった第13回は香港から発信され、延べ100名近くが参加。「ポストコロナ時代」の国際関係の再構築が求められる中で、東アジアの様相とあり方について考えた。



日本国大使を歴任された下荒地修二先生、ソウル大学日本研究所教授南基正先生からコメントをいただいて一段落。後半の懇親会でも多くの先生方から活発な意見が交わされた。

詳細は SGRA ニュース <http://wwwaisf.or.jp/sgra/active/news/>  
李彦銘「第13回 SGRA カフェ『ポストコロナ時代の東アジア』報告」 参照。

## 第14回 SGRA-Vカフェ

### 国際的観点から見た 日本の新型コロナウィルス対策

日 時：2020年9月19日（土）  
方 法：鹿島新館（渥美財団ホール）& Zoom  
言 語：日本語のみ  
主 催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

今回はオンライン Zoom と渥美財団の会場とを繋ぎ、リアルとバーチャルを組み合わせて開催。国立国際医療研究センター国際感染症センター長の大曲貴夫先生をお招きして新型コロナウィルスとはなにか、日本の新型コロナウィルス対策の特徴と現状についてのお話を伺うと共にアジア各国からのコロナ禍のオンライン報告という趣向で行われた。会場には20名、オンラインでは50名が参加した。



まず、日本、とりわけ東京の対応について最前線で戦っている大曲貴夫先生の講演後、韓国、台湾、ベトナム、フィリピン、インドの順で元渥美奨学生のオンラインによる現地報告が続いた。



15時にスタートした今回の SGRA カフェは17時に公式イベント（講演・報告・質疑応答）が終了し、後半の「懇親会」では自由な雰囲気の中で議論が行われた。

詳細は SGRA ニュース <http://wwwaisf.or.jp/sgra/active/news/>  
第14回 SGRA カフェ「国際的観点から見た日本の新型コロナウィルス対策」 参照。

## 第15回 SGRA-Vカフェ

### 「鬼滅の刃」からみた日本アニメの文化力

日 時：2021年3月20日（土）  
方 法：Zoomウェビナーによる  
言 語：日中韓3言語同時通訳付き  
主 催：渥美国際交流財団関口グローバル研究会（SGRA）

長編アニメ「鬼滅の刃 無限列車篇」は日本だけでなく、アジア各国で関心が高く、日本の現代文化におけるアニメの強さをあらためて印象づけた。アニメが現在に至る歴史、世界的視野からみた独自性の確立、これまでにヒット・注目された作品の特徴、そしてアニメがこれからも発展し、日本を代表する「文化」としての力を持続するための課題や展望などについて意見が交わされた。今回のVカフェは、渥美財団ホールをスタジオとして発信し、世界10カ国あまり、300名ほどの視聴者が参加した。



司会に陳龜さん（京都精華大学講師）、講師に日本大学藝術学部映画学科講師津堅信之先生をお招きし、講演と対談をZoomウェビナーで配信。テンポのよいトークで、あっという間の1時間30分となつた。

詳細はSGRAニュース <http://wwwaisf.or.jp/sgra/active/news/>  
陳龜「第15回 SGRA-Vカフェ『鬼滅の刃』からみた日本アニメの文化力の報告」参照。

## コロナとSGRA

2020年度のSGRAの活動は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大幅な予定変更を余儀なくされた。

しかしながら、月例会で学んだバーチャル会議の可能性をSGRAのイベントに展開。従来は30名程度の小規模なSGRAカフェもバーチャルになると世界中から100名を超す参加者を得、300人を超したことあった。SGRAイベントへの参加者は2019年の約460名に比べて、2020年度は810名と倍増。しかも世界中からリアルタイムで参加となり、より多くの人々に発信することができるようになった。

チャイナ・フォーラムは、講師は京都、日中同時通訳は北京、日韓同時通訳はソウル、聴講者は世界中から参加という空間を超えた事業になり、3月のSGRAカフェは日中韓同時通訳に加えて、聴講者がQ&Aに投稿する質問を3言語に同時翻訳し好評を得た。

「国史たちの対話の可能性」フォーラムは従来日中韓同時通訳付きのプロジェクトであるが、今までの国史対話の参加者全員をお誘いしてオンライン上で自由討論に参加していただき、日中韓の国史研究者ネットワークの推進に大きな成果があった。

このようにオンライン展開によって新しい展開が可能になったため、コロナ終息後もSGRAのイベントは会場とオンラインのハイブリッド型で実施することになるだろう。

一方で、下記のプロジェクトは止むを得ず中止した。

- ・日台アジア未来フォーラム「日台の酒造りと文化：日本酒vs紹興酒」
- ・SGRAフォーラム「日本のODAと東アジア：再評価の試み」
- ・SGRAふくしまスタディツアーア

# 出版物一覧



第5回アジア未来会議  
優秀論文集

## アジアの未来へー私の提案 Vol.5

2020年9月5日発行



## The 5th Asia Future Conference

### Southeast Asia Inter-Cultural/ Religious Dialogue Report

### Social Ethics and Global Economy

Can Religion Stop the Tyranny  
of the Market Economy?

2020年3月10日発行



## SGRA レポート 76

第9回 SGRA チャイナ・フォーラム in フフホト & 北京講演録

### 日中200年 —文化史からの再検討

劉 建輝

2020年6月18日発行



## SGRA レポート 88

第12回 SGRA チャイナ・フォーラム講演録

### 日中映画交流の 可能性

刈間文俊、王衆一

2020年9月25日発行



## SGRA レポート 90

第63回 SGRA フォーラム講演録

### 第4回 日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性： 「東アジア」の誕生—19世紀における国際秩序の転換—

三谷博、大久保健晴、  
韓承勳、孫青、大川真、  
南基玄、郭衛東、塙出浩之、  
韓成敏、秦方

2020年11月20日発行



## SGRA レポート 90 (中国語版)

第63届 SGRA 论坛 (关口全球研究会)

### 第四届 日本・中国・韩国 国史对话的可能性

“东亚”的诞生 19世纪国际秩序的转换

三谷博、大久保健晴、韩承勋、  
孙青、大川真、南基玄、郭卫东、  
盐出浩之、韩成敏、秦方

发行日 2021年2月11日



## SGRA レポート 90 (韓国語版)

제 63 회 SGRA 포럼

### 제 4 회 한국·일본·중국 간 국사들의 대화 가능성 '동아 시아' 의 탄생 : 19 세기 국제질서의 전환

미타니 히로시, 오쿠보 다케하루,  
한승훈, 쑨청, 오카와 마코토,  
남기현, 꾸어 웨이뚱, 시오데  
히로유키, 한성민, 친팡

발행일 2021년 2월 11일



## SGRA レポート 91

第13回 SGRA-V カフェ講演録

### ポスト・コロナ時代 の東アジア

林 泉忠

2020年11月20日発行

# 財團運営

## 2020年度 業務日誌

- 5月1日 5月例会：オンラインで自己紹介（オンライン）
- 3日 V ラクーン会（オンライン）
- 17日 SGRA レポート第 84 号：第 11 回 SGRA チャイナフォーラム「東アジアから見た中国美術史学」発行
- 16日 第 32 回理事会（2019 年度事業及び決算報告、その他）（渥美財団ホール＋オンライン）
- 6月1日 2019 年度年報発行
- 3日 第 12 回評議員会（2019 年度事業及び決算報告、その他）（書面決議）
- 9日 6月例会：「いまさら聞けない？！新型コロナへの疑問・質問」（渥美財団ホール＋オンライン）
- 7月1日 2021 年度奨学生募集要項公開（関東地方の大学に通知、ホームページに掲載）
- 4日 7月例会：蓼科ワークショップ@東京「リモート教育の可能性と限界」（渥美財団ホール＋オンライン）
- 13日～17日 8月例会：個人面談（渥美財団またはオンライン）
- 18日 第 13 回 SGRA-V カフェ「ポストコロナ時代の東アジア」（オンライン）
- 8月 14 日 V ラクーン会（オンライン）
- 9月1日 2021 年度奨学生応募受付開始
- 11日 9月例会：「渥美財団の初期の活動や SGRA 設立について知ろう！」（渥美財団ホール＋オンライン）
- 19日 第 14 回 SGRA-V カフェ「国際的観点から見た日本の新型コロナウィルス対策」（渥美財団ホール＋オンライン）
- 20日 SGRA レポート第 88 号：第 12 回 SGRA チャイナ・フォーラム「日中映画交流の可能性」発行
- 27日 2006 年度奨学生 V ラクーン会（オンライン）
- 30日 2021 年度奨学生応募締め切り（応募者総数 71 名）
- 10月5～9日 2021 年度奨学生書類審査
- 14日 10月例会：「こんなものいいな、できたらいいなー「どこでもペタル」製作を通してー」（渥美財団ホール＋オンライン）
- 15日 2003 年度奨学生 V ラクーン会（オンライン）
- 11月1日 第 14 回 SGRA チャイナ -V フォーラム「東西思想の接触圏としての日本近代美術史再考」（オンライン+北京大学）
- 4日～11日 2021 年度奨学生候補者予備面接
- 16日～20日 11月例会：個人面談（渥美財団）
- 20日 SGRA レポート第 90 号：第 63 回 SGRA フォーラム 第 4 回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性「『東アジア』の誕生－19世紀における国際秩序の転換－」発行
- SGRA レポート第 91 号：第 13 回 SGRA-V カフェ「ポスト・コロナ時代の東アジア」発行
- 12月5日 2021 年度奨学生最終選考・面接
- 19日 第 33 回理事会（2021 年度奨学生の決定、その他）（渥美財団ホール＋オンライン）
- 30日 12月例会：ブチクリスマス会（オンライン）
- 年末 V ラクーン会（オンライン）
- 1月9日 第 65 回 SGRA-V フォーラム 第 5 回日本・中国・韓国における国史たちの対話の可能性「19世紀東アジアにおける感染症の流行と社会的対応」（オンライン）
- 16日 1月例会：新年会（渥美財団ホール＋オンライン）
- 2月1～5日 2月例会：個人面談（渥美財団またはオンライン）
- 3月6日 第 34 回理事会（2021 年度事業計画と予算、その他）（渥美財団＋オンライン）
- 3月例会：2020 年度奨学生研究報告会（渥美財団＋オンライン）
- 14日 1996 年度奨学生 V ラクーン会（オンライン）
- 20日 第 15 回 SGRA-V カフェ「『鬼滅の刃』からみた日本アニメの文化力」（オンライン）

# 財務諸表

## 貸借対照表

2021年3月31日現在

(単位:円)

| 科 目           | 金 額             |
|---------------|-----------------|
| I 資産の部        |                 |
| 1 流動資産        | 5,200,303       |
| 2 固定資産        |                 |
| (1) 基本財産      | 4,855,467,027   |
| (2) 特定資産      | 316,255,110     |
| (3) その他の固定資産  | 403,399         |
| 固定合計          | 5,172,125,536   |
| 資産合計          | 5,177,325,839   |
| II 負債の部       |                 |
| 1 流動負債        | 288,472         |
| 2 固定負債        | 4,860,000       |
| 負債合計          | 5,148,472       |
| III 正味財産の部    |                 |
| 1 指定正味財産      | 5,171,722,137   |
| (うち基本財産への充当額) | (4,855,467,027) |
| (うち特定資産への充当額) | (316,255,110)   |
| 2 一般正味財産      | 455,230         |
| 正味財産合計        | 5,172,177,367   |
| 負債及び正味財産合計    | 5,177,325,839   |

## 正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目             | 金 額           |
|-----------------|---------------|
| I 一般正味財産増減の部    |               |
| 1. 経常増減の部       |               |
| (1) 経常収益        |               |
| 基本財産運用益         | 44,618,917    |
| 特定資産運用益         | 548,636       |
| 受取寄附金           | 36,638,600    |
| 為替差益            | 49,246        |
| 雑収益             | 80,164        |
| 経常収益計           | 81,935,563    |
| (2) 経常費用        |               |
| 事業費             | 76,222,455    |
| 管理費             | 5,713,108     |
| 経常費用計           | 81,935,563    |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 0             |
| 評価損益等計          | 0             |
| 当期経常増減額         | 0             |
| 2. 経常外増減の部      |               |
| (1) 経常外収益       |               |
| 経常外収益計          | 0             |
| (2) 経常外費用       |               |
| 経常外費用計          | 0             |
| 当期一般正味財産増減額     | 0             |
| 一般正味財産期首残高      | 455,230       |
| 一般正味財産期末残高      | 455,230       |
| II 指定正味財産増減の部   |               |
| 受取寄附金           | 4,080,000     |
| 基本財産運用益         | 103,200,000   |
| 基本財産評価損益等       | 924,000,000   |
| 特定資産評価損益等       | 348,045       |
| 一般正味財産への振替額     | ▲ 65,392,463  |
| 当期指定正味財産増減額     | 966,235,582   |
| 指定正味財産期首残高      | 4,205,486,555 |
| 指定正味財産期末残高      | 5,171,722,137 |
| III 正味財産期末残高    | 5,172,177,367 |

# 財団人名簿

(2021年3月31日現在)

## 評議員

|          |                          |
|----------|--------------------------|
| 渥美直紀     | 評議員会会長 鹿島建設株式会社代表取締役副社長  |
| 明石 康     | 公益財団法人国立京都国際会館理事長        |
| 秋山 豪     | 鹿島建設株式会社社友               |
| 渥美雅也     | 一般財団法人東京水産振興会会長          |
| 蟻川芳子     | 日本女子大学名誉教授、学校法人日本女子大学評議員 |
| 井上博允     | 東京大学名誉教授、元日本学術振興会監事      |
| 加藤秀樹     | 一般社団法人構想日本代表             |
| 鹿取克章     | 外務省参与、元駐インドネシア特命全権大使     |
| 佐藤（塙口）直子 | 東京国際大学教授                 |
| 遠山友寛     | T M I 総合法律事務所パートナー・弁護士   |
| 永山 治     | 中外製薬株式会社特別顧問・名誉会長        |
| 畠村洋太郎    | 東京大学名誉教授、株式会社畠村創造工学研究所代表 |
| 堀田健介     | 株式会社堀田総合事務所代表取締役会長       |
| 山本尚子     | 公益財団法人伊藤謝恩育英財団常務理事・事務局長  |
| 八城政基     | 元株式会社新生銀行取締役会長           |

## 理事

|          |                          |
|----------|--------------------------|
| 渥美伊都子    | 理事長                      |
| 今西淳子     | 常務理事                     |
| 上野 宏     | 元国土交通省政策統括官              |
| 片岡達治（建之） | 元癌研究会主任研究員               |
| 金 外淑     | 兵庫県立大学看護学部心理学系教授         |
| 高 健俊     | 北九州市立大学国際環境工学部教授         |
| 嶋津忠廣     | 前渥美国際交流財団事務局長            |
| 高橋 甫     | 公益財団法人日本テニス協会常務理事        |
| 平川 均     | 名古屋大学名誉教授、国士館大学客員教授      |
| 李 恩民     | 桜美林大学グローバル・コミュニケーション学群教授 |
| 角田英一     | 事務局長                     |

## 監事

|      |                |
|------|----------------|
| 中村金郎 | 鹿島建設株式会社社友     |
| 藤井純一 | 公益財団法人かめのり財団理事 |

## 選考委員

|       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 田村次朗  | 選考委員長 慶應義塾大学法学部教授（法学）              |
| 佐野みどり | 学習院大学文学部教授（美術史）                    |
| 細田衛士  | 慶應義塾大学名誉教授、中部大学経営情報学部学部長・教授（環境経済学） |
| 山科 章  | 東京医科大学名誉教授、桐生大学・桐生大学短期大学部副学長（医学）   |
| 金子成彦  | 東京大学名誉教授、早稲田大学理工学術院教授（機械工学）        |
| 奥田暁代  | 慶應義塾大学法学部教授（英語、地域文化論）              |

# 奨学生名簿

## 【1995年度奨学生】

Bambling, Michele バンブリング、ミッシェル [アメリカ] 女:コロンビア大学／慶應義塾大学 [博士] (美術史) : (在アブダビ)

Gao Lingna 高 玲娜 [中国] 女:一橋大学 [博士] (社会学) : (在横須賀)

Gao Weijun 高 偉俊 [中国] 男:早稲田大学 [博士] (建設工学) : 北九州市立大学国際環境工学部教授、西安交通大学兼任教授 (在北九州)

Jin Xi 金 熙 [中国] 男:東京工業大学 [博士] (物理情報学) : Sheerwood 科技発展有限公司社長 (在北京)

Kwack Jae-Woo 郭 在祐 [韓国] 男:学習院大学 [博士] (美術史) : 日本大学文理学部、学習院大学文学部非常勤講師

Maquito, Ferdinand マキト、フェルディナンド [フィリピン] 男: 東京大学 [博士] (経済学) : フィリピン大学ロスバニヨス校准教授 (在フィリピン・ロスバニヨス)

Park Chul-Ju 朴 哲主 [韓国] 男: 慶應大学 [博士] (商学) : 三育大学経営学部 (在ソウル)

Park Jung-Ran 朴 貞蘭 [韓国] 女: 日本女子大学 [博士] (社会福祉学) : 仁済大学社会福祉科副教授 (在釜山)

Shi Jianming 施 建明 [中国] 男: 筑波大学 [博士] (数理工学／社会工学) : 東京理科大学経営学部教授

Yao Hui 葉 会 [中国] 男: 早稲田大学 (日本文学) : 法政大学国際文化情報学部非常勤講師

Youn Seok-Hee 尹 錫姫 [韓国] 女: 専修大学 [博士] (商学) : 仁徳大学観光学部非常勤講師 (在ソウル)

### ○阪神大震災被災特別奨学生

Chen Xiao 陳 曜 [中国] 男: 神戸大学 (医学)

Horng Der-Juinn 洪 德俊 [台湾] 男: 神戸大学 [博士] (経営学) : 国立中央大学企業管理系副教授 (在台湾・桃園)

Wang Libin 王 立彬 [中国] 男: 神戸大学 (自然科学) : (株) 東洋インキ製造 (在上海)

## 【1996年度奨学生】

Chantachote, Viravat チャンタチャオ ピラバット [タイ] 男: 慶應義塾大学 [博士] (法学) : タマサート大学法学院准教授 (在バンコク)

Gulench, Selim Yucel グランチ, セリム [トルコ] 男: 東京大学 (政治学) : コンヤ市庁国際関係・観光部 (在トルコ・コンヤ市)

Khin Maung Htwe キン マウン トゥエ [ミャンマー] 男: 早稲田大学 [博士] (応用物理) : Hotel AKIMOMI 社長 (在マンダレー)

Kim Woong-Hee 金 雄熙 [韓国] 男: 筑波大学 [博士] (国際政治経済学) : 仁荷大学国際通商学科教授 (在仁川)

Lee Nae-Chan Huey 李 來贊 [韓国] 男: 慶應義塾大学 [博士] (管理工学) : 漢城大学経済学部教授 (在ソウル)

Nam Ki-Jeong 南 基正 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (国際関係論) : ソウル大学日本研究所教授 (在ソウル)

Park Keun-Hong 朴 根弘 [韓国] 男: 東京工業大学 [博士] (生命理工学)

Qiao Xin 喬 辛 [中国] 男: 東京工業大学 [博士] (無機材料工学)

Trede, Melanie Maria トレーデ、メラニー [ドイツ] 女: ハイデルベルグ大学／学習院大学 [博士] (日本美術史) : ハイデルベルグ大学東洋美術史研究所教授 (在ハイデルベルグ)

Zhao Qing 趙 青 [中国] 女: お茶の水女子大学 (比較文化)

Zhu Tingyao 朱 庭耀 [中国] 男: 東京大学 [博士] (船舶海洋工学) : 日本海事協会技術研究所首席研究員／ハルビン工科大学客員教授

## 【1997年度奨学生】

De Maio, Silvana デマイオ、シルバーナ [イタリア] 女: 東京工業大学 [博士] (日本語教育) : ナポリ東洋大学アジア、アフリカ、地中海学科教授 (在ナポリ)

Fang Meili 方 美麗 [台湾] 女: お茶の水女子大学 [博士] (言語学) : (在ロンドン)

Isananto, Winurshito イサンント、ウヌルシト [インドネシア] 男: 慶應義塾大学 [博士] (応用化学) : インドネシア工業省マナド工業規格と研究研究所: (在インドネシア)

Kim Woe-Sook 金 外淑 [韓国] 女: 早稲田大学 [博士] (健康科学) : 兵庫県立大学名誉教授 (在神戸)

Katagiri, Laohaburanakit Kanokwan (Noi) 片桐カノックワン、ラオハブランナキット (ノイ) [タイ] 女: 筑波大学 [博士] (言語学、日本語教育) : チュラロンコン大学文学部日本語講座准教授 (在バンコク)

Lee Hyang-Chul 李 香哲 [韓国] 男: 一橋大学 [博士] (経済学) : 光云大学日本学科教授 (在ソウル)

Li Enmin 李 恩民 [中国] 男: 一橋大学 [博士] (社会学) : 桜美林大学グローバル・コミュニケーション学群教授

Nizamidin Jappar ニザミディン ジャッパル [アメリカ] 男: 東京大学 [博士] (応用化学) : キモト・テック取締役 (在米ジョージア)

Wang Yuepeng 王 岳鵬 [中国] 男: 東京大学 [博士] (医学) : 上海交通大学医学院附属新華病院科研中心 (在上海)

Williams, Duncan ウィリアムズ、ダンカン [イギリス] 男: ハーバード大学／上智大学 [博士] (宗教学) : 南カルフォルニア大学宗教学部長 (在ロサンゼルス)

Zhang Shao-min 張 紹敏 [中国] 男: 東京大学 [博士] (医学) : (株) 増盤会館代表 (在岡山)

## 【1998年度奨学生】

Adiole, Emmanuel アディオレ、エマニュエル [ナイジェリア] 男: 東京大学 [博士] (政治学) : ナイジェリア・エネルギー環境研究所主任研究員 (在ナイジェリア)

Cao Bo 曹 波 [中国] 男: 早稲田大学 [博士] (建設工学) : 株式会社北京NTTデータジャパン

He Zuyuan 何 祖源 [中国] 男: 東京大学 [博士] (先端学際工学／光電子工学) : 上海交通大学光ファイバ技術国家重点实验室教授 (在上海)

Hu Jie 胡 潔 [中国] 女: お茶の水女子大学 [博士] (文学) : 名古屋大学大学院国際言語文化研究科教授 (在名古屋)

Kim Jaesung 金 宰晟 [韓国] 男: 東京大学 (仏教学) : 仏教大学院大学 (在ソウル)

La Insook 羅 仁淑 [韓国] 女: 早稲田大学修了、流通経済大学 [博士] (経済学) : 国士館大学政経学部非常勤講師、NPO 暖流代表

Lee Joo-Ho 李 周浩 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (電子工学) : 立命館大学情報理工学部情報理工学科教授 (在滋賀)

Mailisha マイリーサ [中国(内モンゴル)] 女: 一橋大学 [博士] (社会学) : 昭和女子大学国際学部国際学科教授

Sun Yanping 孫 艷萍 [中国] 女: 東京大学 [博士] (医学) : コロンビア大学医学部准教授 (在ニューヨーク)

Wu Hongmin 吳 弘敏 [中国] 女: 東京工業大学 [博士] (精密工学) : フクダ電子 (株)

Xu Xiaoyuan 許 曜原 [中国] 女: 東京大学 [博士] (農業生命科学) : コロンビア大学ナオミベリーセンター研究員 (在ニューヨーク)

## 【1999年度奨学生】

Coimbra, Maria Raquel Moura コインブラ、マリア・ハケウ・モウラ [ブラジル] 女: 東京水産大学 [博士] (資源育成学) : ベルナンブコ州立大学農水学部 (在ブラジル・ベルナンブコ)

Hong Kyung-Jin 洪 京珍 [韓国] 女: 東京工業大学 [博士] (化学環境工学) : 韓国環境省 (在ソウル)

Hou Yankun 侯 延昆 [中国] 男: 東京工業大学 [博士] (物理電子化学／薬学) : UBS Investment Research (在香港)

Ju Yan 具 延 [中国] 男: 筑波大学 [博士] (農学) : メツツオペーバージャパン (株)

Li Gangzhe 李 鋼哲 [中国] 男: 立教大学 (経営学／経済学) : 北陸大学未来創造学部教授 (在金沢)

Musikasinthorn, Prachya ムシカシントーン、プラチヤー [タイ] 男: 東京水産大学 [博士] (資源育成学) : カセサート大学水産学部所助教授 (在バンコク)

Vu Thi Minh Chi ブティミンチー [ベトナム] 女: 一橋大学 [博士] (地域研究) : ベトナム社会科学院人間科学研究所研究員 (在ハノイ)

Wang Dan 王 旦 [中国] 男: 東京藝術大学 [博士] (音楽) : バイオリニスト／昭光物産 (株)

**Yang Jie Chi** 楊 接期 [台湾] 男: 東京工業大学 [博士] (教育工学): 国立中央大学網路學習科技研究所教授 (在台湾・桃園)

**Yeh Wen-chang** 葉 文昌 [台湾] 男: 東京工業大学 [博士] (電子物理工学): 島根大学総合理工学研究科准教授 (在松江)

**Zhou Haiyan** 周 海燕 [中国] 女: 東京医科歯科大学 [博士] (医学): たてやまクリニック院長 (在富山)

### [2000 年度奨学生]

**Jin Zhengwu** 金 政武 [中国] 男: 東京工業大学 [博士] (物質科学): ソニー株式会社

**Jung Jae Ho** 鄭 在皓 [韓国] 男: 慶應義塾大学 [博士] (物質科学): 三星電子 LCD 総括 LCD 開発室 (在天安)

**Jung Sung Chun** 鄭 成春 [韓国] 男: 一橋大学 [博士] (経済学): 対外経済政策研究院 (KIEP) (在世宗市)

**Ko Hee Tak** 高 熙卓 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (総合文化): (株) グローカル・ニュース (Glocal News) 代表理事 (在済州)

**Lim Chuan-Tiong** 林 泉忠 [香港] 男: 東京大学 [博士] (国際政治学): 武漢大学国際問題研究院教授・副院長・日本研究センター執行主任 (在武汉)

**Molnar, Margit** モルナール、マルギット [ハンガリー] 女: 慶應義塾大学 [博士] (経済学): OECD 研究員 (在パリ)

**Naiwala Pathirannehelage Chandrasiri** ナイワラ パティランネヘーラー・チャンドラシリ [スリランカ] 男: 東京大学 [博士] (電子情報): 工学院大学情報学部准教授

**Ren Yong** 任 永 [中国 (内モンゴル)] 男: 群馬大学 [博士] (医学): ニューヨーク州立大学医学部研究員 (在米バッファロー)

**Suzuki Sato, Hiromi** スズキ サトウ、ヒロミ [メキシコ] 女: 慶應義塾大学 (経済学): (在東京)

**Wu Yuping** 武 玉萍 [中国] 女: 千葉大学 [博士] (医学): 理化学研究所 発生・再生科学総合研究センター (CDB) (在神戸)

**Xu Xiangdong** 徐 向東 [中国] 男: 立教大学 [博士] (社会学): (株) 中国市場戦略研究所代表取締役

**Zeng Zhinong** 曾 支農 [中国] 男: 東京大学 [博士] (アジア文化): 湖北省留学人員聯誼会会长 (在武汉)

### [2001 年度奨学生]

**Borjigin, Burenssain** ボルジギン、ブレンサイン [中国 (内モンゴル)] 男: 早稲田大学 [博士] (東洋史): 滋賀県立大学人間文化学部教授 (在彦根市)

**Fan Jianting** 範 建亭 [中国] 男: 一橋大学 [博士] (経済学): 上海財経大学国際工商管理学院助教授 (在上海)

**Jeon Jin Hwan** 全 振煥 [韓国] 男: 東京工業大学 [博士] (建築材料): 鹿島建設 (株) 技術研究所主任研究員

**Jiang Huiling** 蒋 惠玲 [中国] 女: 横浜国立大学 [博士] (電子情報工学): (株) NTT ドコモ研究開発センター主査

**Jin Xianghai** 金 香海 [中国] 男: 中央大学 [博士] (政治学): 逝去

**Kostov, Vlaho** コストブ、ブラホ [マケドニア/イタリア] 男: 東京都立科学技術大学 [博士] (システム工学): バナソニック・ヨーロッパ社 (在フランクフルト)

**Lee Hyun-Young** 李 炫瑛 [韓国] 女: お茶の水女子大学 [博士] (比較文化): 建国大学校師範大学日本語教育科助教授 (在ソウル)

**Lee Young-Suk** 李 英淑 [韓国] 女: 筑波大学 [博士] (教育学): (在釜山)

**Liang Xingguo** 梁 興國 [中国] 男: 東京大学 [博士] (化学生命工学): 中国海洋大学食品科学と工程学院教授 (在青島)

**Lwin U Htay** ユ ティルイン [ミャンマー] 男: 東京医科歯科大学 [博士] (社会医学及び公衆衛生学): ロイヤル・ルイン・メディカルセンター所長 (在ヤンゴン)

**Qi Jin Feng** 奇 錦峰 [中国 (内モンゴル)] 男: 東京医科歯科大学 [博士] (薬理学): 広東藍島生物技術公司 Director of Center for Primates R&D, Deputy VGM (在広州)

**Sri Sumantyo, Josaphat Tetuko** スリ スマンティヨ、ヨサファット・テトオコ [インドネシア] 男: 千葉大学 [博士] (人工システム科学): 千葉大学環境リモートセンシング研究センター教授

### [2002 年度奨学生]

**Baek Insoo** 白 寅秀 [韓国] 男: 早稲田大学 [博士] (商学)

**Chen Tzu-Ching** 陳 姿菁 [台湾] 女: お茶の水女子大学 [博士] (国際日本学): 開南大学応用日本語学科・応用中国語学科副教授 (在台北)

**Jo Gyuhwan** 曹 奎煥 [韓国] 男: 早稲田大学 [博士] (地質学): JX 石油開発株式会社 (在クアラルンプール)

**Hu Bingqun** 胡 炳群 [中国] 男: 日本工業大学 [博士] (システム工学): 日豊興業株式会社 (在名古屋/広州)

**Iko Pramudiono** イコ プラムディオノ [インドネシア] 男: 東京大学 [博士] (電子情報工学): 三井物産 (株) 事業統括部

**Mandah, Ariunsaihan** マンダフ、アリウンサイハン [モンゴル] 男: 一橋大学 [博士] (地域社会学): (在米カンザス)

**Mukhopadhyaya, Ranjana** ムコパディヤーヤ、ランジャナ [インド] 女: 東京大学 [博士] (宗教学宗教史): デリー大学・東アジア研究科教授 (在デリー)

**Park Young-June** 朴 栄濬 [韓国] 男: 東京大学 [博士] (国際社会科学): 国防大学校安全保障大学院教授 (在ソウル)

**Sun Jianjun** 孫 建軍 [中国] 男: 国際基督教大学 [博士] (日本語学): 北京大学外国语学院准教授 (在北京)

**Wang Xi** 王 溪 [中国] 男: 東京大学 [博士] (電子情報工学): Fujitsu Network Communications, Research Scientist (在米テキサス)

**Yimit, Abiliz** イミテ、アブリズ [中国 (ウィグル)] 男: 横浜国立大学 [博士] (人工環境システム): 新疆大学化学化工学院教授 (在ウルムチ)

**Yu Xiaofei** 于 曉飛 [中国] 女: 千葉大学 [博士] (社会文化科学): 日本大学法學部特任教授

### [2003 年度奨学生]

**Chae Sang Heon** 蔡 相憲 [韓国] 男: 東京農工大学 [博士] (生物生産学): 天安蓮庵大学新環境園芸科教授 (在韓国・天安)

**Chang Kuei-e** 張 桂娥 [台湾] 女: 東京学芸大学 [博士] (学校教育学 (言語文化)): 東吳大学日本語文学系副教授 (在台北)

**Husel** フスレ [中国 (内モンゴル)] 男: 東京外国语大学 [博士] (地域文化): 昭和女子大学国際学部国際学科教授、昭和女子大学大学院生活機構研究科教授

**Kim Hyeon Wook** 金 賢旭 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (総合文化 (表象文化)): 国民大学日本学科副教授 (在ソウル)

**Kwak Jiwoong** 韩 智雄 [韓国] 男: 立教大学 [博士] (経営学): 九州産業大学商学部商学科准教授 (在福岡)

**Lin Shaoyang** 林 少陽 [中国] 男: 東京大学 [博士] (総合文化 (超域文化)): 香港城市大學中文及び歴史学科教授 (在香港)

**Lu Yuefeng** 陸 耀鋒 [中国] 男: 東京海洋大学 (海洋情報システム): Merit Education Inc., President; Merit College, Principal (在トロント)

**Piao Zhenji** 朴 貞姬 [中国] 女: 明海大学 [博士] (応用言語学): 北京語言大学外国语学部東方言語文化学院教授 (在北京)

**Tisi, Maria Elena** ティシ、マリア エレナ [イタリア] 女: 白百合女子大学 [博士] (児童文学): ポローニャ大学助教 (在ポローニャ)

**Yamaguchi, Ana Elisa** ヤマグチ、アナエリーザ [ブラジル] 女: 一橋大学 [博士] (社会学): (在ロンドン)

**Yun Hui-suk** ウン ヒスク [韓国] 女: 東京大学 [博士] (材料学): 韓国機械研究院付属材料研究所 (KIMS) (在韓慶南道昌原)

**Zang LI** 蔡 例 [中国] 女: 東京学芸大学 [博士] (学校教育学 (教育方法論)): 東海大学准教授

### [2004 年度奨学生]

**Ampong, Beryl Nyamekye** アンポン、ペリル・ニヤメチェ [ガーナ] 女: 東京医科大学 [博士] (薬理学): (在ワシントンD.C.)

**Chin, Angelina Yan Yan** チン、アンジェリーナ [アメリカ] 女: カリフォルニア大学サンタクララ校/お茶の水女子大学 [博士] (ジャーイナー研究): Pomona College 准教授 (在カリフォルニア)

**Khomenko, Olga** ホメンコ、オリガ [ウクライナ] 女: 東京大学 [博士] (地域文化研究): キエフ経済大学ビジネス学科・マネジメント学科助教授 (在キエフ)

**Lee Jea Woo** 李 济宇 [韓国] 男: 早稲田大学 [博士] (地盤地震工学): AECOM、Associate Director (在メリボルン)

Lee Sung Young 李 承英 [韓国] 女:筑波大学 [博士] (言語学):光云大学日本学科 (在ソウル)

Meng Zimin 孟 子敏 [中国] 男:筑波大学 [博士] (言語学):松山大学人文学部教授 (在松山)

Mullagildin, Rishat ムラギルディン、リシャット [ロシア] 男:慶應大学 (環境デザイン):RAUM Architects 社長 (在ロシア、ウファ)

Napoleon ナボレオン [インドネシア] 男:東京工業大学 [博士] (機械制御システム):バークレイズ証券

Sonntag, Mira ザンターカ、ミラ [ドイツ] 女:東京大学 [博士] (宗教史学):立教大学文学部キリスト教学科准教授

Tsai Ying-hsin 蔡 英欣 [台湾] 女:東京大学 [博士] (法學):国立台湾大学法学部副教授 (在台北)

Yang Myung Ok 梁 明玉 [韓国] 女:お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学):建国大学校行政大学院社会福祉学科招聘教授 (在ソウル)

Ye Sheng 叶 盛 [中国] 男:東京大学 [博士] (先端学際工学):東莞九域星医薬科技有限公司 (在香港)

## [2005 年度奨学生]

Bao Lian Qun 包 聰群 [中国 (内モンゴル)] 女:東京大学 [博士] (言語情報科学):大分大学経済学部教授 (在大分)

Han Junqiao 韓 琪巧 [中国] 女:早稲田大学 [博士] (建築学):(在バークレー)

Han Kyoung Ja 韓 京子 [韓国] 女:東京大学 [博士] (日本文化研究):青山学院大学文学部准教授

Jiang Susu 江 蘇蘇 [中国] 女:横浜国立大学 [博士] (物理情報工学):東芝インフラシステムズ株式会社鉄道システム事業部

Kim Bumsu 金 範洙 [韓国] 男:東京学芸大学 [博士] (社会系教育 (歴史)):(社)国際交流振興協会理事長、東京学芸大学特命教授 (国際担当)、(韩国) 国立公州大学客員教授、(中国)湖南師範大学客員教授

Kim Yeonkyeong 金 娟鏡 [韓国] 女:東京学芸大学 [博士] (心理学):鹿児島大学教育学部家政専修准教授 (保育・児童学担当)

Lan Hungyueh 蘭 弘岳 [台湾] 男:東京大学 [博士] (地域文化研究):中央研究院の歴史言語研究所 (在台北)

Tenegra, Brenda Resurecion Tiu テネグラ、ブレンダ レスレシヨン ティウ [フィリピン] 女:お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学):Accenture Inc. (在フィリピン・セブ島)

Vo Chi Cong ヴォー チー コン [ベトナム] 男:東京工業大学 (数理・計算科学):シアトルコンサルティング株式会社

Wang Xueping 王 雪萍／Arakawa Yuki 荒川 雪 [中国] 女:慶應義塾大学 [博士] (政策メディア):東洋大学社会学部メディアコミュニケーション学科教授

Wong Kin Foon Kevin 王 健歡 [香港] 男:総合研究大学院 [博士] (統計科学):Citizens Bank, Quantitative Analyst (在ボストン)

Zhao Changxiang 趙 長祥 [中国] 男:一橋大学 [博士] (商学):(在上海)

## [2006 年度奨学生]

Chu Xuan Giao チュ・スワン・ザオ [ベトナム] 男:総合研究大学院大学 [博士] (文化人類学):ベトナム社会科学院文化研究所上席研究員 (在ハノイ)

Hu Xiuying 胡 秀英 [中国] 女:千葉大学 [博士] (看護教育学):四川大学華西病院看護学部 (在成都)

Hyun Seungsoo 玄 承洙 [韓国] 男:東京大学 [博士] (地域文化):(在ソウル)

Li Chengri 李 成日 [中国] 男:慶應義塾大学 [博士] (政治学):中国社会科学院亞太与全球戰略研究院助理研究員 (在北京)

Liang Yun-hsien 梁 蘭嫻 [台湾] 女:東京大学 [博士] (比較文化):元智大学応用外語学科助理教授 (在台北)

Mohottala, Shirmila モホッタラ、シャミラ [スリランカ] 女:東京大学 [博士] (情報理工学):(在スリランカ)

Pantcheva, Elena Latchezarova パンチュワ、エレナ [ブルガリア] 女:千葉大学 [博士] (日本研究):(在ブルガリア)

Seo Kyoung Sook 徐 景淑 [韓国] 女:慶應義塾大学 (美学美術史):(在ソウル)

Sim Choon Kiat シム チュンキャット [シンガポール] 男:東京大学 [博士] (教育学):昭和女子大学人間社会学部現代教養学科准教授 (学科長)

Sun Junyue 孫 軍悦 [中国] 女:東京大学 [博士] (言語情報科学):立命館大学国際関係学部 (在京都)

Weerasinghe, Nalin ウィーラシンハ、ナリン [スリランカ] 男:電気通信大学 [博士] (電子工学):シュルンベルジェ株式会社

Woo Seonghoon 禹 成勲 [韓国] 男:東京大学 [博士] (建築学):(在仁川)

## [2007 年度奨学生]

Chan Chai-fong 詹 彩鳳 [台湾] 女:東京大学 (地域文化研究):(在台北)

Deng Fei 鄧 飛 [中国] 男:東京大学 [博士] (先端エネルギー学):Super C Inc. 代表 (在深圳)

Gangbagana ガンバガナ [中国 (内モンゴル)] 男:東京外国语大学 [博士] (地域文化研究):内蒙古民族大学 (在フフホト)

Kim Minsuk 金 政淑 [韓国] 女:早稲田大学 [博士] (建築学):日本ミクニヤ株式会社 (在京都)

Lee Eungyong 李 坤庚 [韓国] 女:東京大学 [博士] (地域文化研究):ソウル大学日本研究所 HK 研究教授 (在ソウル)

Mijiti, Abuduxukuer メジテ、アブドュクル [中国 (ウイグル)] 男:東京医科大学 [博士] (外科学):新疆ウイグル自治区カシュガル地区第一人民医院腫瘍センター長 (在カシュガル)

Park Sohyun 朴 昭炫 [韓国] 女:東京大学 [博士] (文化資源学):韓国文化観光研究院文化芸術政策担当責任研究員 (在ソウル)

Porras, Rojas Oscar ポラス、ロハス オスカル [コスタリカ] 男:東京海洋大学 [博士] (応用環境システム学):コスタリカ大学太平洋岸副学長 (在コスタリカ・プンタレナス)、東京海洋大学研究員

Quan Mingai 権 明愛 [中国] 女:日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学):十文字学園女子大学人間生活学部講師

Wang Jian Hong 王 剑宏 [中国] 男:早稲田大学 [博士] (建設工学):山東大学齊魯交通学院教授 (在济南)

Yan Hainian 顏 海念／Ohinata Mine 大日向 美音 [中国] 女:東京大学 [博士] (国際保健学):(株)中外製薬医薬安全性本部 PV サイエンス部

Yaroslav, Shulatov ヤロスラブ、シュラトフ [ロシア] 男:慶應義塾大学 [博士] (政治学):神戸大学大学院国際文化学研究科准教授 (在神戸)

## [2008 年度奨学生]

Feng Kai 馮 凱 [中国] 男:東京大学 [博士] (機械工学):湖南大学機械学院教授 (在長沙)

Hong Yunshin 洪 ユンシン [韓国] 女:早稲田大学 [博士] (国際関係学):大阪経済法科大学客員研究員

Shiohara Vroni Friederike 塩原フローニ・フリデリケ [ドイツ／スイス] 女:東京芸術大学 [博士] (文化財保存学):BMW GROUP Japan デジタル・マーケティング・マネージャー

Liu Jian 劉 健 [中国] 女:北京大学／早稲田大学 [博士] (日本語文化):首都師範大学専任講師 (在北京)

Lkhamsuren,Lkhagvasuren ハムスレン、ハグワスレン [モンゴル] 男:早稲田大学 (国際関係学)

Nemekhjargal ネメフジャルガル [中国 (内モンゴル)] 男:亜細亜大学 [博士] (経済学):内蒙古大学民族学與社会学学院 (在フフホト)

Phuong, Kimchhayarasay プアン、キムチャイヤラシー [カンボジア] 女:宇都宮大学 [博士] (物性工学):(在東京)

Song Gang 宋 剛 [中国] 男:桜美林大学 [博士] (地域文化):北京外国语大学日本語学院副教授 (在北京)

Võrno, Heli-Liis ヴェルノ、ヘリ リース [エストニア] 女:学習院大学 (哲学):(在ロンドン)

Wang Wei 王 偉 [中国] 男:千葉大学 [博士] (人工システム):南京信息工程大学教授 (在南京)

Xiu Zhen 修 震 [中国] 男:東京工業大学 [博士] (機械制御システム):Hikvision USA, Product Manager (在カリフォルニア)

Yuk Jaehwa 陸 載和 [韓国] 男:武蔵野美術大学 (造形芸術)

Zhang Jian 張 建 [中国] 男:東京大学 [博士] (教育学):東京電機大学理工学部共通教育群教職課程特任教授

## [2009 年度奨学生]

Choi Eunseok 崔 恩碩 [韓国] 男:国民大学／東京大学 [博士] (日本史学):駐広島韓国総領事館先任研究員 (在広島)

**Darwisheh, Housam** ダルウィッシュ、ホサム [シリア] 男: 東京外国语大学 [博士] (地域文化研究) : 日本貿易振興機構 (ジェトロ) アジア経済研究所

**Kaba Melek** カバ メレキ [トルコ] 女: 筑波大学 [博士] (文芸・言語) : チャナッカレ・オンセキズ・マルト大学教育学部日本語教育 (在トルコ・チャナッカレ)

**Kim Youngsoon** 金 英順 [韓国] 女: 立教大学 [博士] (日本文学) : 立教大学文学部非常勤講師

**Kwak Youngjoo** 郭 栄珠 [韓国] 男: 千葉大学 [博士] (地球生命圈科学) : (独) 土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター (ICHARM) 専門研究員

**Kwon Nam-hee** 権 南希 [韓国] 女: 東京大学 (国際法) : 関西大学政策創造学部助教 (在大阪)

**Rinchin** リンチン [中国 (内モンゴル)] 男: 東京外国语大学 [博士] (地域文化研究) : 内モンゴル大学モンゴル学研究センター (在フホト)

**Schicketanz, Erik Christopher** シックタント、エリック [ドイツ] 男: 東京大学 [博士] (宗教学宗教史学) : 國學院大学神道文化学部助教

**Shermatov Ulugbek** シェルマトフ、ウルグベック [ウズベキスタン] 男: 明治大学 [博士] (民事法學) : ウズベキスタン最高裁判所上席法務官 (在タシケント)

**Son Jounga** 孫 貞阿 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (森林科学) : 国立山林科学院森林病害虫研究科 (在ソウル)

**Veldkamp, Elmer** フェルトカンプ、エルメル [オランダ] 男: 東京大学 [博士] (文化人類学) : ライデン大学人文科学系 地域研究所 (LIAS) 韓国学専攻専任講師 (在ライデン)

**Ye Kyaw Thu** イエ チョウ トゥ [ミャンマー] 男: 早稲田大学 [博士] (国際情報通信学)

**Zhu Lin** 朱 琳 [中国] 女: 東京大学 [博士] (アジア政治思想史) : 東北大学大学院国際文化研究科准教授 (在仙台)

## [2010年度奨学生]

**Phramahāchatpong Katapuñño** プラマハチャッポン [タイ] 男: 東洋大学 [博士] (仏教学) : (在シアトル)

**Choi Jung Eun** 崔 穎恩 [韓国] 女: 東京藝術大学 [博士] (文化財保存学) : 国家記録院大統領記録館保存復元課学芸研究士 (在ソウル)

**Kiatkobchai Siratsanan** キヤーコブチャイ・スイラッサン [タイ] 女: 学習院大学 [博士] (日本語日本文学) : (株) アートボックス (在バンコク)

**Kim Kyongtae** 金 キョンテ [韓国] 男: 高麗大学 / 東京大学 [博士] (歴史学) : 全南大学校歴史教育科助教授 (在韓国光州)

**Lee Hyun Bon** 李 賢凡 [韓国] 男: 東京工業大学 [博士] (材料工学) : (株) POSCO 研究員 (在韓国・全羅南道)

**Li Jun** 李 軍 [中国] 女: 早稲田大学 [博士] (国語教育学) : 早稲田大学教育・総合科学学術院講師・慶應義塾大学非常勤講師

**Lu Liang** 蘆 亮 [中国] 男: 東京工業大学 [博士] (原子核工学) : 中国科学院近代物理研究所研究員 (在蘭州)

**Magid, Evgeni** マギッド、イヴェニ [イスラエル／ロシア] 男: 筑波大学 [博士] (知能機能システム) : カザン連邦大学教授 (在ロシア・カザン)

**Mya Dwi Rostika** ミヤ・ドゥイ・ロスティカ [インドネシア] 女: 国士館大学 [博士] (政治学) : 大東文化大学国際関係学部講師

**Vigouroux, Mathias Dominique Yves** ヴィグル、マティアス [フランス] 男: 二松学舎大学 [博士] (中国学) : 二松学舎大学文学部都市文化デザイン学科専任講師

**Wang Xin** 王 听 / **Sakurai Shin** 櫻井 慎 [中国] 男: 東京医科歯科大学 [博士] (先端医療開発学) : エア・ウォーター株式会社

**Yoon Jin-Hee** 尹 ジンヒ [韓国] 女: お茶の水女子大学 [博士] (ジエンダー学際研究)

## [2011年度奨学生]

**Chong Soonil** 鄭 淳一 [韓国] 男: 早稲田大学 [博士] (アジア地域文化学) : 高麗大学師範大学歴史教育科副教授 (在ソウル)

**Ho Van Ngoc** ホー ヴァン ゴック [ベトナム] 男: 千葉大学 [博士] (建築都市科学) : 鹿島建設 (株) 建築設計本部

**Kang Moonhee** 姜 文熙 [韓国] 女: 日本社会事業大学 (社会福祉学)

**Kim Eunhye** 金 銀恵 [韓国] 女: ソウル大学 / 東京大学 [博士] (都市社会学) : 釜山大学社会学科助教授 (在プサン)

**Kim Soongbae** 金 崇培 [韓国] 男: 延世大学 / 慶應義塾大学 [博士] (国際政治学) : 忠南大学助教授 (在ソウル)

**Lee Hyojeong** 李 孝庭 [韓国] 女: 國際基督教大学 [博士] (比較文化) : 世宗大学教養学部招聘教授 (在ソウル)

**Li Yanming** 李 彦銘 [中国] 女: 慶應義塾大学 [博士] (政治学) : 東京大学教養学部国際コミュニケーションセンター特任講師・慶應義塾大学東アジア研究所訪問研究員

**Naheya** ナヒヤ [中国 (内モンゴル)] 女: 東京大学 [博士] (地域文化) : 内蒙古大学蒙古歴史学系副教授 (在フホト)

**Park Joonui** 朴 准儀 [韓国] 女: ボストン大学 / 東京大学 [博士] (国際政治経済) : ジョージワシントン大学エリオット国際関係学大学院東アジア国家資源センターフェロー (在ソウル)

**Peng Hao** 彭 浩 [中国] 男: 東京大学 [博士] (日本文化研究) : 大阪市立大学社会科学系研究院経済学研究科准教授 (在大阪)

**Piao Wenying** 朴 文英 [中国] 女: 東京医科歯科大学 [博士] (脳神経病態学) : 東京医科歯科大学ポスドク研究員

**Xie Hui-zhen** 謝 惠貞 [台湾] 女: 東京大学 [博士] (アジア文化研究) : 文藻外語大学日本語文学系助理教授 (在高雄)

## [2012年度奨学生]

**Chen Jing-Young** 陳 景揚 [台湾] 男: 東京大学 (文化人類学) : (在台湾)

**Choi Seung-won** 崔 勝媛 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (生物科学) : 日本たばこ産業株式会社研究開発員

**Dale, Sonja** デール、ソンヤ [ノルウェイ] 女: 上智大学 [博士] (グローバル社会) : (在京都)

**Flick, Ulrich** フリック、ウルリッヒ [ドイツ] 男: ハイデルベルグ大学 / 早稲田大学 [博士] (東アジア研究) : 東北学院大学教養学部言語文化学科講師 (在仙台)

**Han Lingji** 韓 玲姫 [中国] 女: 筑波大学 [博士] (情報メディア) : 東京中央日本語学院養成事業部・教務部専任講師

**Li Xue** 李 雪 [中国] 女: 筑波大学 [博士] (文芸・言語) : 寧波大学外国语学院日本語学科講師 (在寧波)

**Oh Jungkeun** 呉 正根 [韓国] 男: 横浜国立大学 [博士] (環境リスクマネジメント) : 国立環境科学院資源循環研究課研究員 (在仁川)

**Park Hyunjung** 朴 炫貞 [韓国] 女: 武蔵野美術大学 [博士] (造形芸術) : 北海道大学高等教育推進機構科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 特任講師 (在札幌)

**Rio, Aaron** リオ、アーロン [アメリカ] 男: コロンビア大学 / 学習院大学 [博士] (日本美術史) : メトロポリタン美術館学芸員 (在ニューヨーク)

**Sung Kihyuk** 成 善赫 [韓国] 男: 明治大学 (日本文学)

**Uzum, Abdullah** ウズム・アブドゥラ [トルコ] 男: 東京農工大学 [博士] (情報工学)

**Yin Feilong** 尹 飛龍 [中国] 男: 東京農工大学 [博士] (機械システム工学) : NINA 株式会社

**Zheng Xiu** 鄭 秀 [中国] 男: 東京医科歯科大学 [博士] (消化器病態学)

## [2013年度奨学生]

**Aroz, Rafael Aingeru** アロツ、ラファエル アインヘル [スペイン] 男: 東京大学 [博士] (文化・人間情報学) : 上智大学外国语学部イスパニア語学科准教授

**Choi Gayoung** 崔 佳英 [韓国] 女: 東京大学 [博士] (社会学)

**Hao Liang** 郝 亮 [中国] 男: 千葉大学 [博士] (人工システム科学) : 天津科学技術大学講師 (在天津)

**Hsu Han-Hsiu** 許 漢修 [台湾] 男: 筑波大学 [博士] (生命産業科学) : 神戸大学科学技術イノベーション研究科学術研究員 (在神戸)

**Jin Guiying** 金 桂英 [中国] 女: 早稲田大学 (日本語教育学) : 山梨学院大学グローバルラーニングセンター特任講師 (在山梨)

**Lee Saebom** 李 セボン [韓国] 女: 東京大学 [博士] (地域文化研究) : 延世大学国学研究院 HK 研究教授 (在ソウル)

**Nordström, Karl Johan** ノルドストロム、カール ヨハン [スウェーデン] 男: 早稲田大学 [博士] (演劇映像学) : 都留文科大学国際教育学科講師

**Tamayo, Ruiz Efrain Eduardo** タマヨ、ルイス エフライン エドアルド [コロンビア] 男: 東京大学 [博士] (先端学際工学) : (株) 日立製作所日立研究所研究員 (在ロンドン)

**Virag, Viktor** ヴィラーグ、ヴィクトル [ハンガリー] 男：日本社会事業大学 [博士] (社会福祉学)：長崎国際大学人間社会学部社会福祉学科講師 (在長崎)

**Xie Pu** 解 璞 [中国] 女：早稲田大学 [博士] (日本語日本文学)：北京大学外国语学院 (在北京)

**Zamengo, Massimiliano** ザメンゴ、マッシミリアーノ [イタリア] 男：東京工業大学 [博士] (原子核工学)：東京工業大学物質理工学院助教

**Zhang Liang** 張 亮 [中国] 男：慶應義塾大学 [博士] (医学研究) (在カナダ)

### [2014年度奨学生]

**Abdin, Mohamed Omer** アブディン、モハメド オマル [スーダン] 男：東京外国语大学 [博士] (総合国際学)：参天製薬株式会社企画本部 CSR 室

**Cakir, Murat** チャクリ、ムラット [トルコ] 男：筑波大学 (教育基礎学)：関西外国语大学特任講師 (在大阪)

**Chae Kyeonghoon** 蔡 晃勲 [韓国] 男：東京芸術大学 (映像メディア学)：韓国映画振興委員会 (KOFIC) 研究員 (在韓国)

**Gerechluun, Ariungerel** ゲレルチュルン、アリウンゲル [モンゴル] 女：筑波大学 [博士] (疾患制御医学)：EagleForce Associates Inc. (在バージニア)

**Goginashvili, David** ゴギナシュヴィリ、ダヴィド [グルジア] 男：慶應義塾大学 [博士] (政策メディア)：在日ジョージア大使館分析官、慶應義塾大学 SFC 研究所上席所員

**Hu Yanhong** 胡 鮑紅 [中国] 女：筑波大学 [博士] (歴史・人類学)：華東師範大学馬克思主義学院 (在上海)

**Kim Taehee** 金 兌希 [韓国] 女：慶應義塾大学 [博士] (政治学)：コンスタンツ大学非常勤研究員、社会科学データ分析修士課程 (在ドイツ・コンスタンツ)

**Li Hui** 李 常 [中国] 女：東京大学 [博士] (建築学)：奈良文化財研究所アソシエイトフェロー (在奈良)

**Li Ting** 李 婷 [中国] 女：早稲田大学 [博士] (日本語教育学)：日本大学文理学部助教

**Mohammad, Jakfar Idrus** ムハッマー、ジャクファル・イルス [インドネシア] 男：国士館大学 [博士] (政治学)：国士館大学 21 世紀アジア学部専任講師

**Ryu Chunghee** 柳 忠熙 [韓国] 男：東京大学 [博士] (比較文学比較文化)：福岡大学人文学部東アジア地域言語学科准教授 (在福岡)

**Wang Huijun** 王 慧雋 [中国] 女：早稲田大学 (日本語教育学)：一橋大学博士課程

### [2015年度奨学生]

**Buritica Alzate, Jiliana** ブリティカ アルサテ、フリアナ [コロンビア] 女：国際基督教大学 [博士] (アーツ・サイエンス)：(在イングランド)

**Cassim, Laila Frances** カセム、ライラ・フランセス [イギリス] 女：東京藝術大学 [博士] (美術)：東京大学先端技術研究センター特任助教

**Cho Guk** 趙 国 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (人文科学)：ソウル大学日本研究所客員研究員 (在ソウル)

**Feltens, Frank** フェルテンズ、フランク [ドイツ] 男：コロンビア大学／学習院大学 [博士] (美術史考古学)：フリーア美術館学芸員 (在ワシントンDC)

**Giglio, Emanuele Davide** ジッリオ、エマヌエーレ ダヴィデ [イタリア] 男：東京大学 [博士] (アジア文化研究)：身延山大学・国際日蓮学研究所研究員、日本学術振興会特別研究員

**Grib, Dina** グリブ、ディーナ [ロシア] 女：首都大学東京 [博士] (人間科学)：名古屋大学国際機構国際教育交流センター、文学部人文学研究科特任講師 (在名古屋)

**Kim Yulhee** 金 律里 [韓国] 女：東京大学 [博士] (基礎文化研究)：(在ソウル)

**Li He-Shu** 李 鯉書 [台湾] 男：東京大学 [博士] (アジア文化研究)：東京大学大学院人文社会系研究科助教

**Moon Kyungnam** 文 景楠 [韓国] 男：東京大学 [博士] (哲学)：東北学院大学教養学部言語文化学科准教授 (在仙台)

**Park Wonhwa** 朴 源花 [韓国] 女：東京大学 (国際社会科学)：東京大学大学院総合教育研究センター助教

**Yan Shulan** 顏 淑蘭 [中国] 女：早稲田大学 [博士] (教科教育学)：社会科学院文学研究所 (在北京)

**Yang Yu Gloria** ヤン、ユー グロリア [中国] 女：コロンビア大学／東京大学 [博士] (美術史)：九州大学大学院人文科学研究院広人文学コース講師 (在福岡)

### [2016年度奨学生]

**Chang Wei-Jung** 張 輝容 [台湾] 女：お茶の水女子大学 [博士] (ジェンダー学際)：同志社女子大学現代社会学部社会システム学科助教 (在京都)

**Cho Ahra** 曹 姦羅 [韓国] 女：ソウル大学／慶應義塾大学 (国際地域学)：韓国国立外交院外交安保研究所日本研究センター研究員 (在ソウル)

**Choi Yurina** 崔 ユリナ [韓国] 女：武藏野美術大学 (造形美術)

**Hong Sung-min** 洪 性珉 [韓国] 男：早稲田大学 [博士] (人文科学)：東北亞歴史財団招聘研究委員 (北方民族史専攻) (在ソウル)

**Jeon Sangryul** 全 相律 [韓国] 男：東京大学 (言語情報科学)：神田外語大学アジア言語学科韓国語専攻語学専任講師

**Jiang Jianwei** 蒋 建偉 [中国] 女：早稲田大学 [博士] (人文科学)：浙江師範大学外国语学院 (在浙江)

**Lamsal, Bikash** ラムサル、ピカス [ネパール] 男：足利工業大学 [博士] (情報・生産工学)：鹿島建設技術研究所研究員

**Lee Ji Hyeong** 李 志炯 [韓国] 男：千葉大学 [博士] (デザイン科学)：第一工科大学建築デザイン学科講師 (在鹿児島)

**Lin Qian Qian** 林 茜茜 [中国] 女：早稲田大学 [博士] (教科教育学)：同濟大学専任講師 (在上海)

**Morrison, Lindsay Ray** モリソン、リンジー レイ [アメリカ] 女：国際基督教大学 [博士] (アーツ・サイエンス)：武蔵大学人文学部英米文化学科専任講師

**Nam Euiyoung** 南 衣映 [韓国] 女：東京大学 (学際情報学)：中民社会理論研究財団 (在ソウル)

**Noh Jooeun** 盧 ジュウン [韓国] 女：東京大学 (学際情報学)：東京大学大学院情報学環特任研究員

### [2017年度奨学生]

**Akbari, Hourieh** アキバリ、フーリエ [イラン] 女：千葉大学 [博士] (公共研究)：白百合女子大学非常勤講師、千葉大学人文社会科学研究科特別研究員 (在名古屋)

**Bajracharya, Dinu** バズラチャルヤ、ディヌ [ネパール] 女：お茶の水女子大学 [博士] (人間発達科学)：R & D Bridge Nepal (在カトマンドゥ)

**Chen Yan** 陳 奥 [中国] 女：東京大学 (超域文化科学)：京都精華大学マンガ学部専任講師、サンネクアニメーション (株) GM

**Fassbender, Isabel** ファスベンダー、イザベル [ドイツ] 女：東京外国语大学 [博士] (国際社会)：同志社女子大学学芸部国際教養学科助教 (在京都)

**Guarini, Letizia** グアリーニ、レティツィア [イタリア] 女：お茶の水女子大学 [博士] (比較社会文化学)：国際基督教大学ジェンダー研究センター助教、武蔵大学非常勤講師、文教大学非常勤講師

**Kim Do-young** 金 跳咏 [韓国] 男：総合研究大学院大学 [博士] (日本歴史研究)：慶北大考古人類学部非常勤講師 (在大邱)

**Kindstrand, Love** シンドストラン、ロヴェ [スウェーデン] 男：シカゴ大学／上智大学 (比較文化研究)：上智大学国際教養学部非常勤講師、IES 全米大学連盟東京留学センター非常勤講師、シカゴ大学社会科学学科非常勤講師

**Kolodziej, Magdalena** コウオジエイ、マグダレナ [ドイツ・ボーランド] 女：デューク大学／早稲田大学 [博士] (美術史)：東洋英和女学院大学国際社会学部国際コミュニケーション学科講師

**Ofosu, Joseph Ampadu** オフォス、ジョセフ アンペドゥ [ガーナ] 男：東京大学 [博士] (先端エネルギー工学)：九州工業大学ポスドク研究員 (在北九州)

**Park Jonghyuk** 朴 鍾赫 [韓国] 男：東京慈恵会医科大学 [博士] (臨床検査医学)：日本医科大学スポーツ科学教室ポスドク研究員

**Sim Woohyang** 沈 雨香 [韓国] 女：早稲田大学 [博士] (教育社会学)：早稲田大学国際教養学部助教

**Song Han** 宋 啓 [中国] 男：東京大学 [博士] (日本文化研究)：フェリス女学院大学文学部日本語日本文学科准教授

**Yang Guanqiong** 楊 冠穹 [中国] 女：東京大学 [博士] (アジア文化研究)：関西外国语大学外国语学部助教 (在大阪)

## [2018年度奨学生]

- Chiang Yung Po 江 永博 [台湾] 男:早稲田大学(日本史学):早稲田大学大学史資料センター常勤嘱託
- Cho Suil 趙 秀一 [韓国] 男:東京大学[博士](言語情報科学):東国大学校文化学術院日本学研究所専任研究員(在ソウル)
- Corbel, Amélie コーベル、アメリ [フランス] 女:パリ政治学院[博士](比較政治):獨協大学外国語学部フランス語学科特任講師
- Haritaipan, Lalita ハリタイパン、ラリター[タイ]女:東京工業大学[博士](工学機械):リブ・コンサルティング(在バンコク)
- Kim Boram 金 ボラム [韓国] 女:東京大学[博士](電気系工学):サムスン電子総合技術院(在ソウル)
- Liang Yihua 梁 焕華 [中国] 女:東京外国语大学[博士](言語文化):広東外語外貿大学(在広州)
- Min Dongyup 閔 東暉 [韓国] 男:東京大学(地域文化研究):武蔵大学人文学部、フェリス女学院大学文学部、学習院大学外国语教育研究センター、千葉大学教育学部、横浜国立大学都市科学部非常勤講師
- Shorina, Dariyagul ショリナ、ダリヤグル [カザフスタン] 女:筑波大学(国際日本研究):明渓日本語学校開設準備室教員
- Wu Xiaoxiao 武 瀟瀟 [中国] 女:フランス国立高等研究実験院(EPHE)／東京大学(歴史学・文献学):東京国立博物館国際交流室アソシエイトフェロー
- Wuerrer, Stefan ヴューラー、シュテファン・ヨアキム [オーストリア] 男:東京大学(超域文化科学):武蔵大学人文学部グローバル・スタディーズ学科非常勤講師
- Xie, Fang 解 放 [中国] 男:東京外国语大学(言語文化):東京外国语大学特別研究員
- Yang, Chun Tin 楊 淳婷 [台湾] 女:東京藝術大学[博士](芸術環境創造):東京藝術大学国際芸術創造研究科特任助教

## [2020年度奨学生]

- Cho Sojin 趙 沼振 [韓国] 女:東京外国语大学(国際社会):東京外国语大学特別研究員
- Koo Hyewon 具 慧原 [韓国] 女:東京大学(美学芸術学)
- Lee Sujin 李 受眞 [韓国] 女:東京学芸大学[博士](教育方法論講座):浜松学院大学こどもコミュニケーション学科助教(在静岡)
- Liu Yichen 劉 怡臻 [台湾] 女:明治大学(文化領域):東京語文学院
- Maierdanjiang, Nuermainmaiti マリダン、ヌルマイマイティ [中国] 男:順天堂大学(医学研究科神経学):順天堂大学研究員
- Miao Fengke 苗 凤科 [中国] 女:中央大学(国文学)
- Newbery Payton, Christopher Laurence ニューベリー・ペイトン、クリスター・ローレンス [イギリス] 男:東京外国语大学(言語文化):東京外国语大学非常勤講師、國立館大学非常勤講師
- Shishkin, Victor シーシキン、ヴィクター [ロシア] 男:東京大学[博士](システム創成学):東京大学研究員
- Wu Ching Wen 吳 勤文 [台湾] 女:筑波大学[博士](国際日本研究):筑波大学人文社会系博士特別研究員
- Yang Sungyun 梁 誠允 [韓国] 男:東京大学(日本文化研究)
- Yong Xu 雍 旭 [中国] 男:電気通信大学[博士](機械知能システム学):中国科学院(在深圳)
- Yu Ning 于 寧 [中国] 男:東京大学(超域文化科学):国際基督教大学センター研究センター研究員
- Yuan Xiao Yu 元 笑予 [中国] 女:東京学芸大学[博士](学校教育学):玉川大学教育学部非常勤講師、東京学芸大学個人研究員
- Yun Jaeun 尹 在彦 [韓国] 男:一橋大学[博士](国際関係論):一橋大学大学院法学研究科特任講師

## [2019年度奨学生]

- Almeree, Nahed アルメリ、ナヘド [シリア] 女:筑波大学[博士](文芸・言語):(在ダマスカス)
- Baraniak-Hirata, Zuzanna バラニャク平田、ズザンナ [ポーランド] 女:お茶の水女子大学(ジェンダー学際研究):埼玉大学非常勤講師、聖心女子大学非常勤講師
- Chen Lu 陳 路 [中国] 女:東京外国语大学(言語文化):上智大学非常勤講師、早稲田大学非常勤講師
- Chen Zhao 陳 昭 [中国] 女:東京大学(文化人類学)
- Ferré, Antonin フェレ、アントナン [フランス] 男:東京大学／プリンストン大学(日本語日本文学):プリンストン大学博士課程(在プリンストン)
- Guo Chiyang 郭 駿洋 [中国] 男:東京大学(地域文化研究):東京大学東アジア藝文書院(EAA)特任研究員
- Jin Hongyuan 金 弘淵 [中国] 男:東京大学[博士](先端生命科学):株)リニカル(在神戸)
- Kim Sinhye 金 信慧 [韓国] 女:立教大学[博士](コミュニティ福祉学)
- Lai Sihyu 賴 思妤 [台湾] 女:東京大学[博士](東アジア思想文化):中央研究院中国文学与哲学研究所(在台北)
- Lee Taekjin 李 泽珍 [韓国] 男:東京大学(比較文学・比較文化)
- Nohara, Jun ノハラ、ジュン [フランス] 男:東京大学(国際関係論):京都産業大学国際関係学部講師(在京都)
- Serena, Franco セレナ、フランコ [イタリア] 男:慶應義塾大学[博士](国際取引法・民事法):武蔵野学院大学国際コミュニケーション学部専任講師
- Shin Hyewon 申 惠媛 [韓国] 女:東京大学[博士](国際社会・相関社会):東京大学教養学部付属教養教育高度化機構社会連携部門特任助教
- Tang Rui 唐 睿 [中国] 男:東京大学[博士](電気系工学):東京大学工学系研究科電気系工学専攻特任研究員
- Wang Wenlu 王 震璐 [中国] 女:東京大学(中国思想文化学):東京大学国際高等研究所・東京カレッジ特任研究員
- Xie Suhang 謝 蘇杭 [中国] 男:千葉大学[博士](人文公共学):千葉大学大学院人文科学研究院特別研究員

## [2021年度奨学生]

- Chan Ya Hsun 詹 亞訓 [台湾] 女:東京大学(国際社会科学)
- Chen Xi 陳 希 [中国] 女:東京大学(地域文化研究)
- Chen Yijie 陳 藝婕 [中国] 女:総合研究大学院大学(国際日本研究)
- Chiang Hsun Yi 蒋 薫誼 [台湾] 女:東京大学(アジア文化研究)
- Cho You Kyung 曹 有敬 [韓国] 女:東京大学(美学芸術学)
- Guo Lifu 郭 立夫 [中国] 男:東京大学(地域文化研究)
- Hu Shi 胡 石 [中国] 男:東京農工大学(生物機能システム科学)
- Kakin, Oksana カキン、オクサン [ロシア] 女:お茶の水女子大学(センター学際研究)
- Lee Chungsun 李 貞善 [韓国] 女:東京大学(文化資源学)
- Li Dian 李 典 [中国] 女:慶應義塾大学(分子生物学)
- Li Zhaoxue 李 趙雪 [中国] 女:東京藝術大学(日本・東洋美術史研究)
- Mohd Hafiz Hilman Bin Mohammad Sofian モハマド・ハフィズ・ヒルマン・ビン・モハマド・ソフィアン [マレーシア] 男:芝浦工業大学(機能制御システム)
- Wang Xingfang 王 杏芳 [中国] 女:東京大学(法学政治学(総合法政))
- Yue Qu 楽 曲 [中国] 男:早稲田大学(人文科学)

# 2020年度の活動にご協力いただいた皆様

ありがとうございました

## 奨学事業及び公益目的事業への寄附・賛助・支援

### 団体

|                   |                  |             |
|-------------------|------------------|-------------|
| (株) アクト・テクニカルサポート | ケミカルグラウト(株)      | 中外製薬(株)     |
| 大和証券(株)           | (株) イリア          | 鹿島建設(株)     |
| 鹿島リース(株)          | 鹿島プロパティマネジメント(株) | 鹿島建物総合管理(株) |
| 鹿島道路(株)           | かたばみ興業(株)        | (株) 三井住友銀行  |
| 大興物産(株)           | 東亜産業(株)          |             |

### 個人

渥美伊都子 藤井純一 井手園子 李 鋼哲

## 国際交流事業への寄附・賛助・支援

### 団体

|             |                  |                  |
|-------------|------------------|------------------|
| 中鹿營造股份有限公司  | (株) イリヤ          | 鹿島プロパティマネジメント(株) |
| 鹿島建物総合管理(株) | キッコーマン(株)        | (株) 小堀鐸二研究所      |
| プラス(株)      | スナヤン開発           | 大興物産(株)          |
| (株) 虎屋      | (株) 都市環境エンジニアリング |                  |

### 個人

|           |       |             |             |      |
|-----------|-------|-------------|-------------|------|
| 阿部和彦      | 足立憲彦  | 赤池 豊        | 明石 康        | 秋山 豪 |
| 網倉和仁      | 蟻川芳子  | 渥美恵子        | 渥美直紀・美恵子    | 包聯群  |
| チャクル ムラット | 曹 波   | 深田 宏        | 福田孝晴        | 福島和彥 |
| 船本洋治      | 高 健俊  | 橋本留理子       | 畠村洋太郎       | 平川 均 |
| 平野 聰      | 星埜弘明  | 細田衛士        | 堀田健介        | 井手園子 |
| 石田弘幸      | 岩崎統子  | 蒋 惠玲        | 金 政武        | 金子 宏 |
| 金子成彦      | 狩野正利  | 鹿島順介        | 片岡達治        | 河村一雄 |
| 金ボラム      | 木村建一  | 岸本啓子        | 幸田初枝        | 小泉博義 |
| 小松親次郎     | 工藤 捷  | 功刀欣弥        | 李 恩民        | 李 鋼哲 |
| 林 少陽      | 前川麻里  | 前川昭一        | 皆川倫子        | 三澤正勝 |
| 森本洋史      | 村田雄二郎 | 永山 治        | 中村順次        | 中村金郎 |
| 中曾根弘文     | 中谷俊信  | 並木寿光(隆史)    | 野村維男        | 沼田正博 |
| 小川 忠      | 尾島俊雄  | 岡 昌男        | 岡橋輝和        | 岡本 章 |
| 奥村裕一      | 小山内優  | 大塚 寿        | 大内聖子        | 大脇正志 |
| 真部文宏      | 佐野みどり | 佐藤道信        | 妹尾正毅        | 瀬谷啓二 |
| 施 建明      | 島田精一  | 嶋津忠廣        | シーシキン・ヴィクター | 末永 航 |
| 鈴木由美子     | 高橋信之  | 高橋 司        | 竹田 優        | 谷原 正 |
| 戸河里敏      | 東城清秀  | 遠山友寛        | 辻 悅子        | 内田 顯 |
| 上野 宏      | 上保紀夫  | ヴォーチー コン    | 呉 弘敏        | 武 玉萍 |
| 山田俊作      | 山上宏介  | ヤロスラブ・シュラトフ | 八城政基        | 米田 稔 |
| 由田哲也      | 吉田由美子 | 吉留可織        | 于 曜飛        | 朱 庭耀 |

(敬称略)

● 2020年4月に開催予定だった設立25周年記念感謝の集いを2021年4月に延期しましたが、新型コロナウイルスのまん延が一向におさまらないので中止を決定いたしました。30周年での開催を願っています。



渥美国際交流財団設立25周年は、それぞれの場所で

渥美国際交流財団設立25周年記念感謝の集いをお待ちいただいている皆さまへ

昨年の開催を延期して、今年桜が咲くころにお集りいただこうと思っておりましたが、一向に治まらない新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、とても残念ですが、この度の集いは中止することにいたしました。

皆さまへの感謝の気持ちを時の経過とともに温めて、設立30周年記念感謝の集いでご一緒に祝杯を挙げることを心待ちにしております。それまで、どうぞくれぐれもお気をつけて、お元気でいらしてください。

2021年2月20日

渥美国際交流財团設立25周年記念感謝の集い  
実行委員会

〒112-0014

東京都文京区関口113-5-8

(3F) 渥美国際交流財団

Tel: 03-3943-7412 | Fax: 03-3943-1512

Email: [ameifoundation@ameif.or.jp](mailto:ameifoundation@ameif.or.jp)

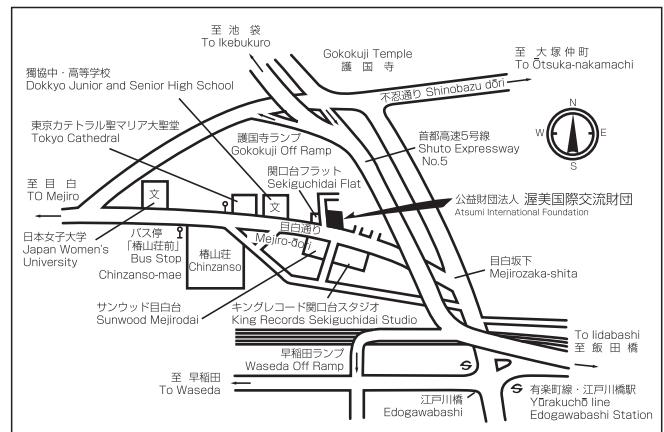
## 公益財団法人 渥美國際交流財団 ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION

〒 112-0014 東京都文京区関口3丁目5番8号  
3-5-8 Sekiguchi Bunkyo-ku Tokyo 112-0014 Japan

PHONE: 03-3943-7612 FAX: 03-3943-1512

E-MAIL: atsumifoundation@aisf.or.jp

<http://wwwaisf.or.jp>



■ JR山の手線目白駅より、都バス 61 番 新宿駅西口行、「椿山荘前」下車・徒歩 3 分

Take the 61 bus from Mejiro Station (JR Yamanote line) and get off at the "Chinzansomae" stop. 3 min. walk.

■ 東京メトロ有楽町線「江戸川橋」(出口A 1)  
下車・徒歩 10 分

Get off at Edogawabashi station from the Yurakucho subway line. (Al exit 10 min.walk)

発行者：公益財団法人渥美國際交流財団

発行日：2021年6月1日

発行責任者：渥美伊都子

印刷：株式会社藤印刷



## ATSUMI INTERNATIONAL FOUNDATION ANNUAL REPORT 2020

2020年度 公益財団法人 渥美國際交流財団 年報